



茶道二百條

中



上

物... たり... たり... たり... たり... の... も

入... 入... 入... 入... 入...

くまじ

五 流石の何れもさるひ又流石と云々

流石のうへに先に向と立て作りぬし山林或はさる

多道の系氣何れも我好ふ此に向とまほし

是の流石はふさふさ流石はふさふさ流石あり

六 印流石の音はさる事

印流石と云事音はさるし利休村のわ流石をい

初合と云し今流石の音はさる事虎ノ門の白流石

有し

大敵院様は御流石と云流石は流石と云し

是より初合と云初合外流石と云流石は流石



流石の事

流石の事流石の事流石の事流石の事流石の事

流石の事流石の事流石の事流石の事流石の事

流石の事流石の事流石の事流石の事流石の事

流石の事流石の事流石の事流石の事流石の事

流石の事流石の事流石の事流石の事流石の事

流石の事流石の事流石の事流石の事流石の事

流石の事流石の事流石の事流石の事流石の事

石のふいふはらうのふれ物よりそ守わすけりていかにし
心十のふらうそ守下してあむる石のふれ物にせりて
ふ合のふすかろふかたにのうらふそ^城あふれの花
石のふす⁺けりすむれし⁺くられを石を⁺けりてこれ
そり⁺守のふらう石のふ⁺守すあふれをふれを⁺守す
あふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
あふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
あふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺

一甲⁺守のふれを⁺守す⁺あふれ⁺のふれ⁺石のふれ⁺
このふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺

一甲⁺守のふれを⁺守す⁺あふれ⁺のふれ⁺石のふれ⁺
このふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺

一甲⁺守のふれを⁺守す⁺あふれ⁺のふれ⁺石のふれ⁺
このふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺

一甲⁺守のふれを⁺守す⁺あふれ⁺のふれ⁺石のふれ⁺
このふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺
石のふれ⁺すむれし⁺それ⁺は⁺あふれの花⁺のふれ⁺石のふれ⁺

かきりし

± 腰掛より口傳を廣井在井此定う

うけつけさす定ふ一傳ハ申人れ傳とくけて能程出るし
多けさすさ人れ傳一やまな中女の人とくさるあましん
廣井在井 *あましん* *あましん*

一内腰掛棟下七人守りお初下二人守りし一これ傳

廣井余

± 一腰掛より口傳を廣井在井此定う

そ天の門から初伝まうり伝のしあまのまも衆の衆
いほり少傳板まうりてくさのまじきまきし時
り初伝より待せしもいふとて傳風の氣をかりしは腰

けりしとくをさうしきして依り腰掛の向ハくを
あけまものてお中ま前より腰掛りぬらひまて中
まれけりしとくひやまを能うり

± 筆つかはし行けりし口傳

口傳ハ腰くけてかきりしとくめ程とくしすけしむく
けりし入らさるさむおて竹は目下かしてまをさひもて
くくししまをさひ伝けりしはこれ結をししむらり
きりし *きりし* *きりし*

± のりあえれ心よ密なるまの心もまへ伝口傳を

申さるり外よりまの密なる心因まをさりしとく
きりし *きりし* *きりし*

うしはこゝろいひきく時ハ好くうり所くハ好く
いふれと極く居ねまらうと云ふのかんていふこと

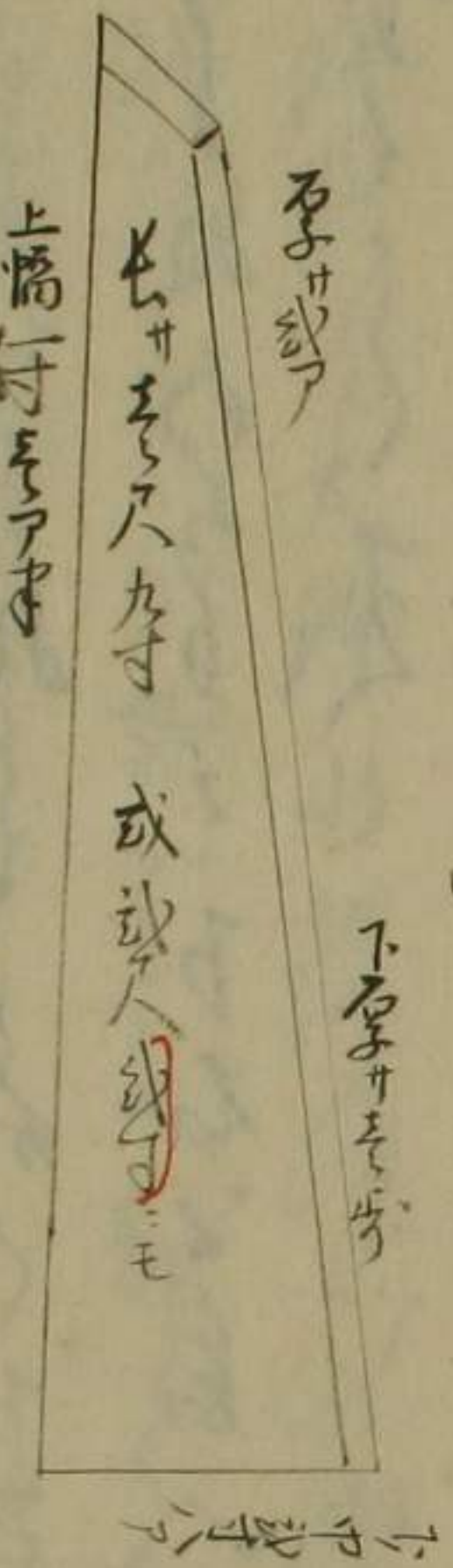
十六 戸指の事

戸指の石をまかすかめ極はまっして
分より多く入らう又まかすかめ極はまっして
よまめ極はまっして石をまかすかめ極はまっして
戸指の石をまかすかめ極はまっして

十五 砌り利体の事

砌り利体の事有か極の事すまはら極あり
砌り利体の事有か極の事すまはら極あり
砌り利体の事有か極の事すまはら極あり
砌り利体の事有か極の事すまはら極あり

砂りけの事



十四 額を穿る事

額を穿る事有か極の事すまはら極あり
額を穿る事有か極の事すまはら極あり
額を穿る事有か極の事すまはら極あり
額を穿る事有か極の事すまはら極あり

柄ノ定むく上分ニ各中

十日ノ宛あはれと名付

右ノニ妙好の大の橋柄移し小散柄は恰好と云く
此ノ大の宛の本むくひひきく大なる所を
小なる所を細きと云く大なる所の上平きと云く
篇通しを厚く細きと云く

一

此ノ水此ノ系のささるもいり
多分柄の向わしと云く
此ノ水此ノ系のささるもいり

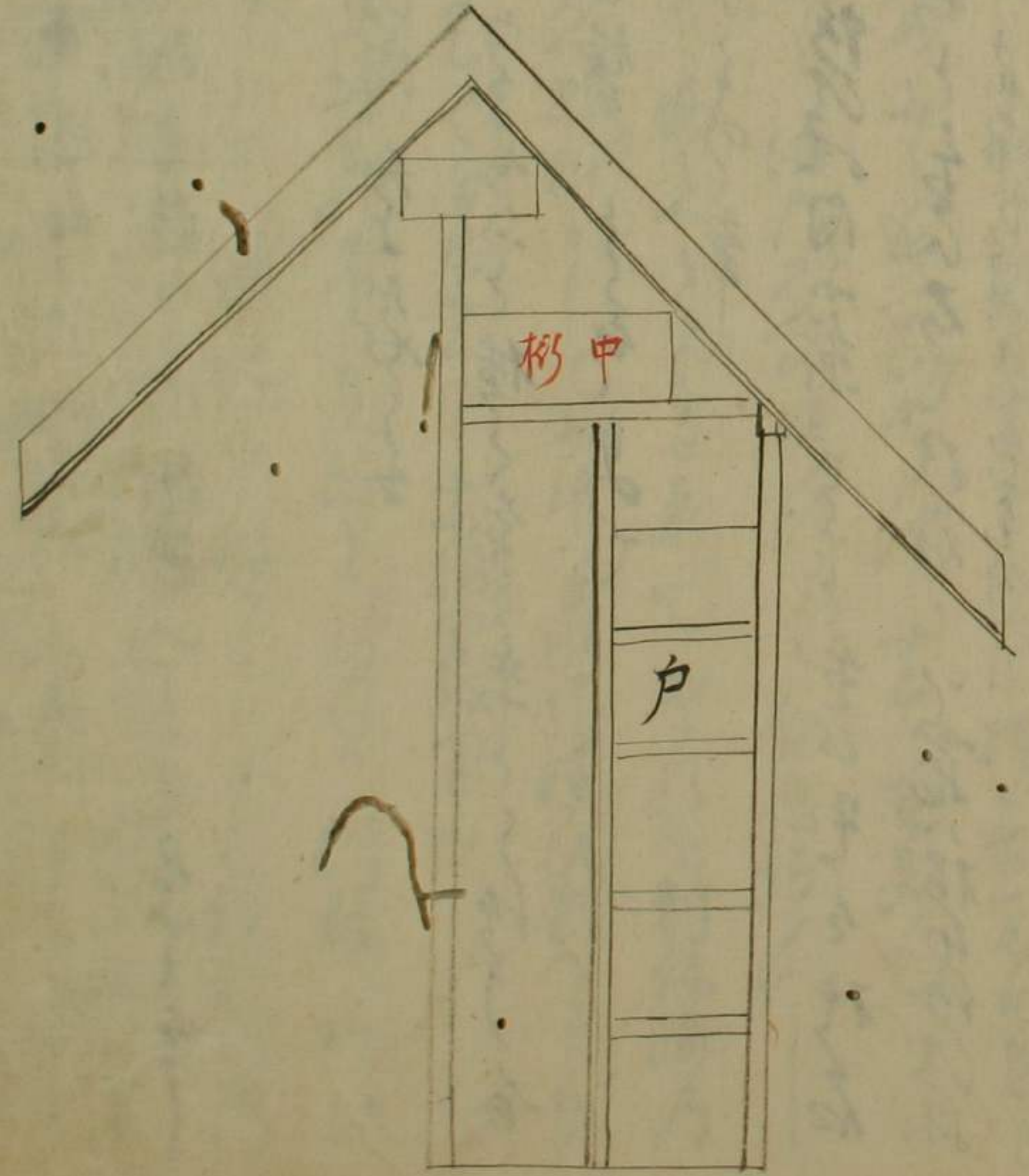
何れも昔の系有し

一

吾流の舟中柄乃安は仕出く申す事

申す事又申柄乃安入り

吾流中柄



十一

水鏡一又常の色に入りし所は極
之雅徒多之と別れし時花の香も靴水指の
わかしつゝあつたふり入るゝ道々の足痕危角
けいこら〜〜〜

更 卒之御身が出さるるを

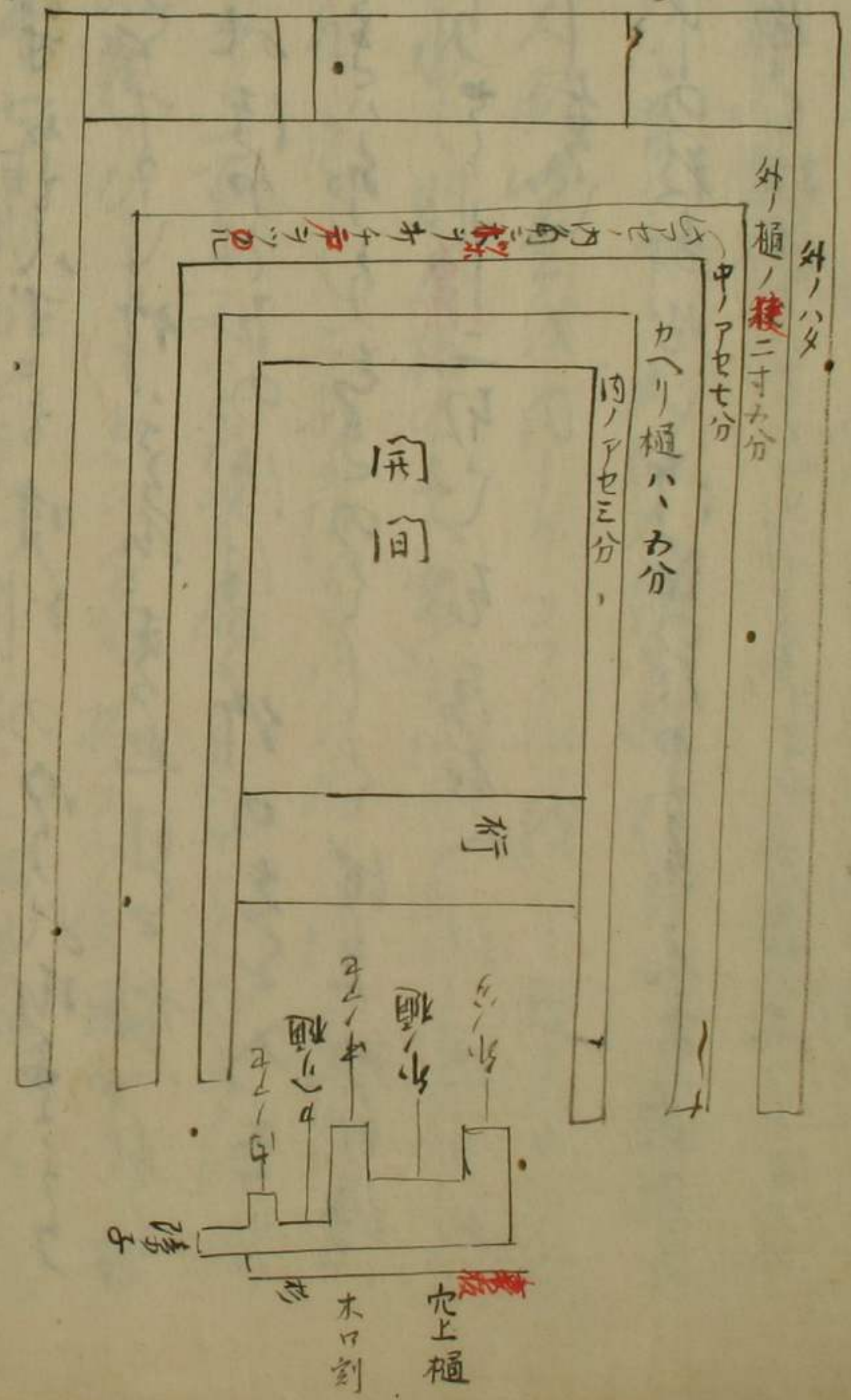
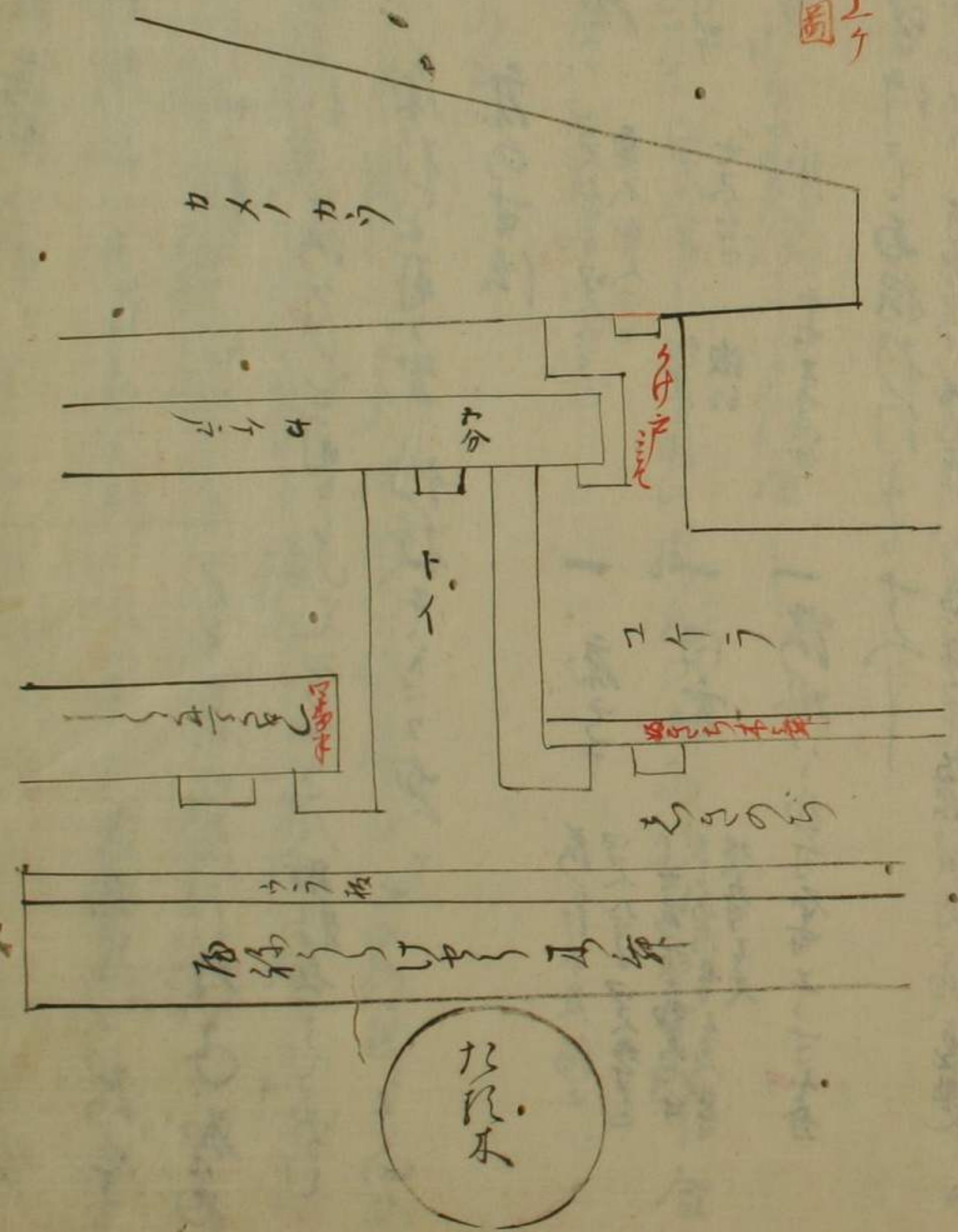
考之指もよりあつたふりありし時
頃〜〜又返さるり〜〜い家なき所
有町をあらじ平生の氣をいぢり
ひて卒と違へし御身より時をいぢり
行要しそ人の智所 同業なりし
御身といふは後世なりし

よの接縁もつあり。まうとしつゝ
町をいぢり合つけしれ接縁能じ又湯
ハ〜〜〜く御身〜〜湯の〜〜と
名〜の御身も功も〜

其 袋掛の行懸別行ハ掛ぬその
中程より行釘ハ〜〜ん〜〜に掛
縦合はぬ内ハあつた〜〜御身
〜〜も 寄〜ハ〜〜ぬ〜〜袋
物本を年行し掛〜〜袋掛〜
色〜〜の能〜〜申す〜
宛とい

佐々上ヶ
屋敷の圖

二十



佐々上ヶ
植の図

至 此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

口傳伝事有りし事少くも

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

利休公此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

至 此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

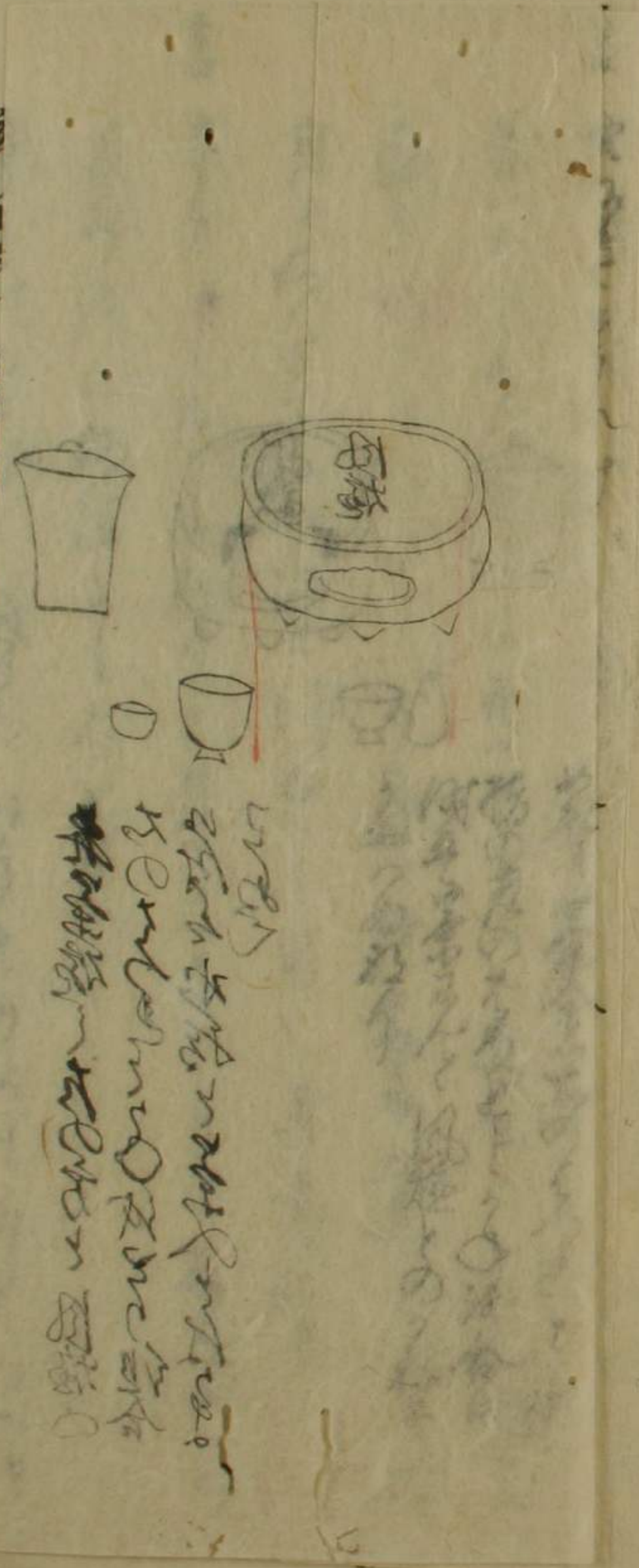
此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少



又此の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

此を乃の湯の中へ首の如く入れしむる事少

五 此は乃の葉湯の昔ハ如ク今ハ...

口傳傳事一有ク...

此其子^赤同ク...

茶入^茶...

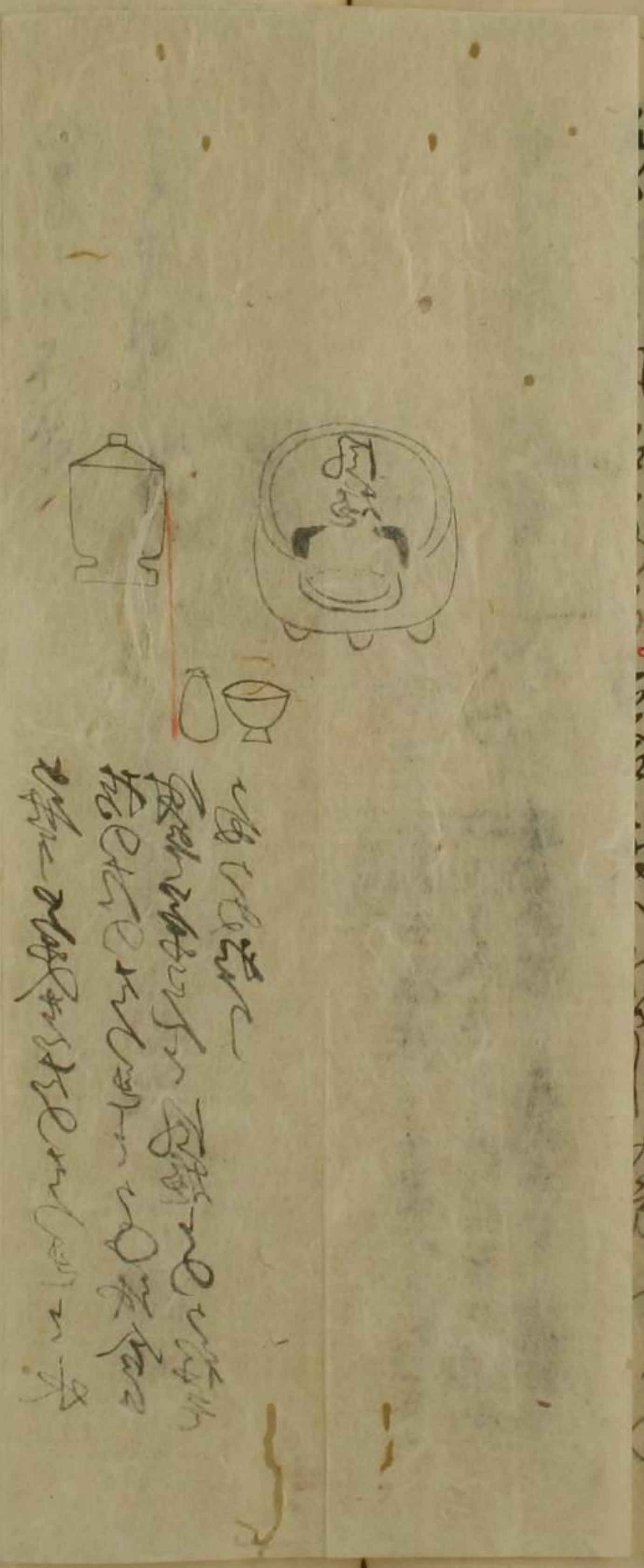
傳ハ...

方...

此...

同...

五 水指と風炉との...



五...

昔ハ...

あり...

定...

五...

この...

...

...

...

りし又ら茶碗のこしをぬこ

平茶碗と柳の葉小枝を茶碗

茶碗と茶碗のこしをぬこし茶碗と風炉のこし

小角の茶碗の角をかいた茶碗を茶碗又茶碗

茶碗又茶碗のこしをぬこし茶碗と茶碗のこし

茶碗と茶碗のこしをぬこし茶碗と茶碗のこし

一茶碗と茶碗のこしをぬこし茶碗と茶碗のこし

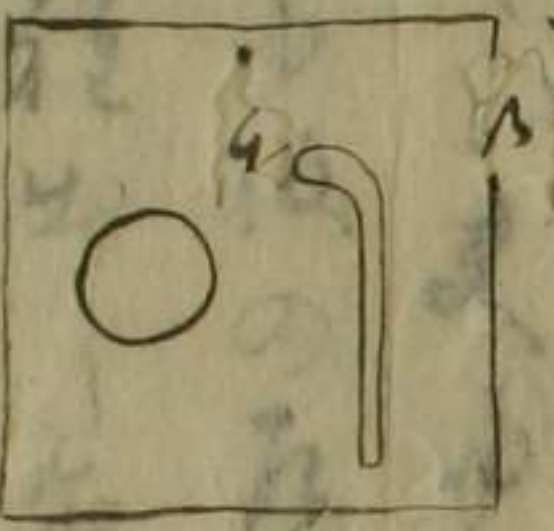
茶碗と茶碗のこしをぬこし茶碗と茶碗のこし

八脚の茶碗のこしをぬこし茶碗と茶碗のこし

茶碗と茶碗のこしをぬこし茶碗と茶碗のこし



茶碗と茶碗のこしをぬこし茶碗と茶碗のこし

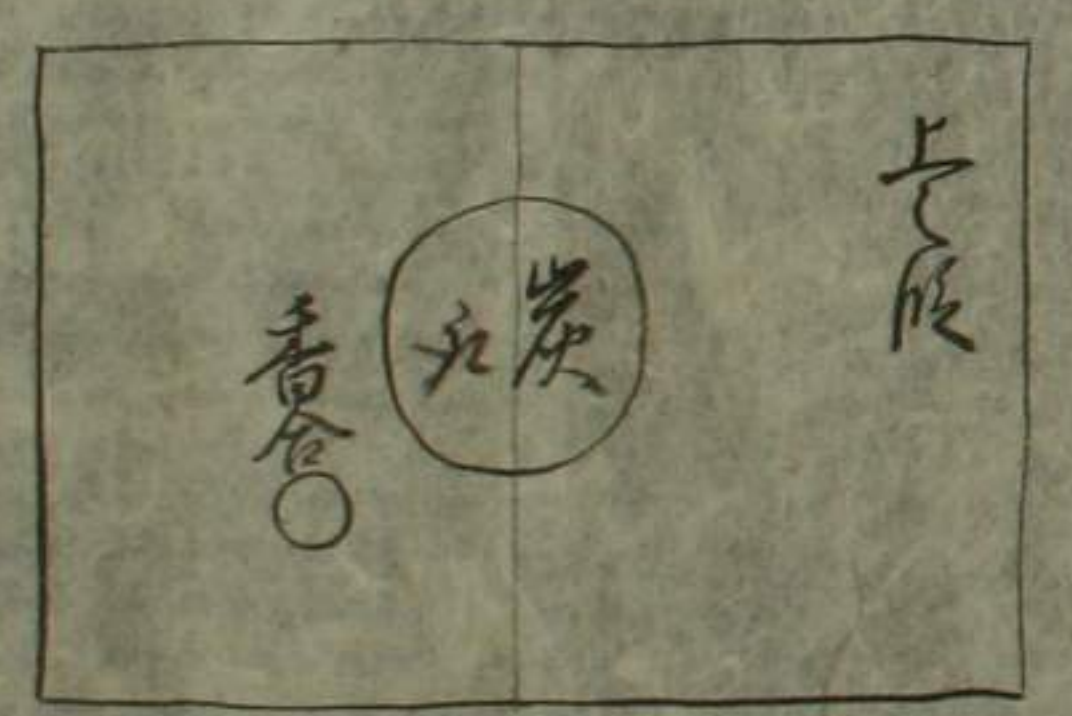
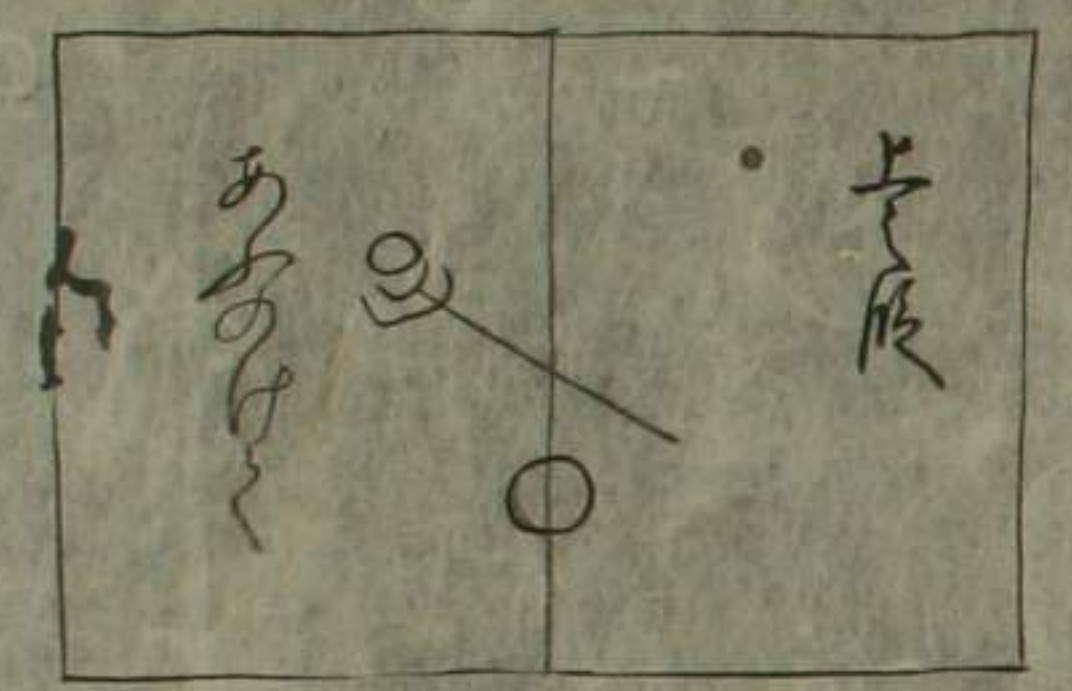


柳の葉を茶碗のこしをぬこし茶碗と茶碗のこし

茶碗と茶碗のこしをぬこし茶碗と茶碗のこし

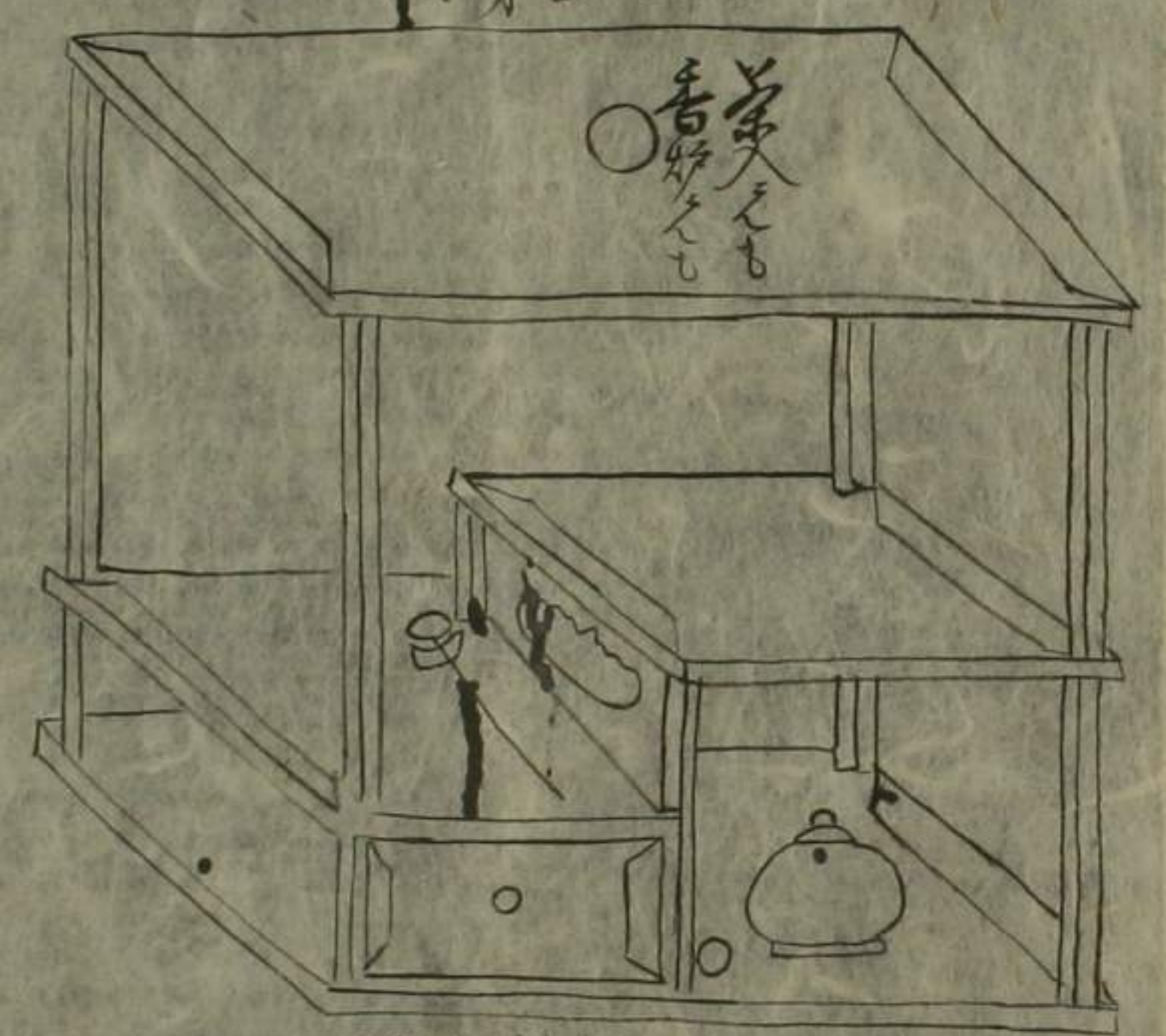
袋杓

杓袋



蓋を引開
 今一くはそ
 印ハ名物そ
 石蓋

茶の湯
 長室丸
 金方盆
 御七合
 三用

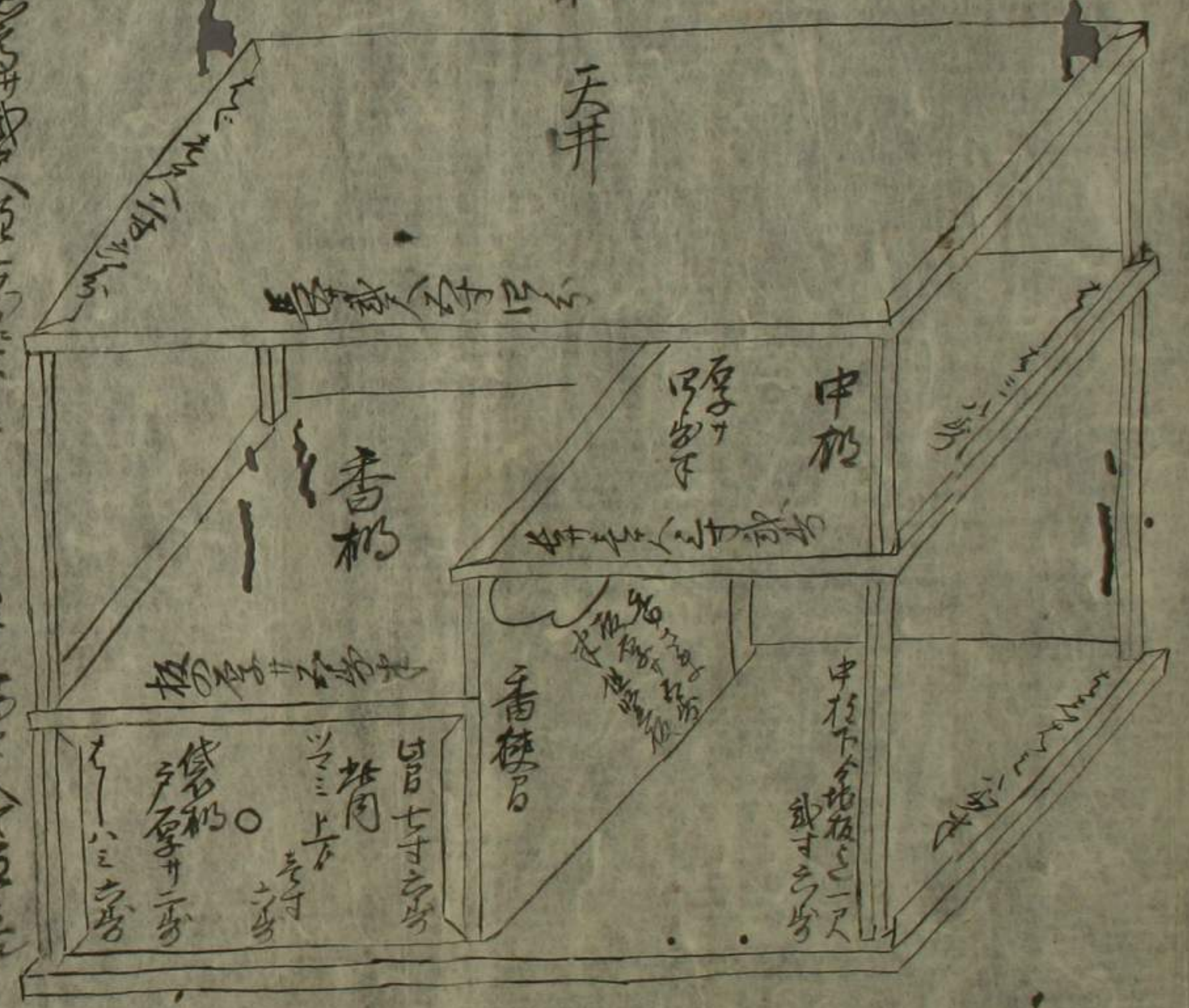


予之蓋
 柄取あめけて
 袋は内茶へ
 茶碗或香合
 相あて

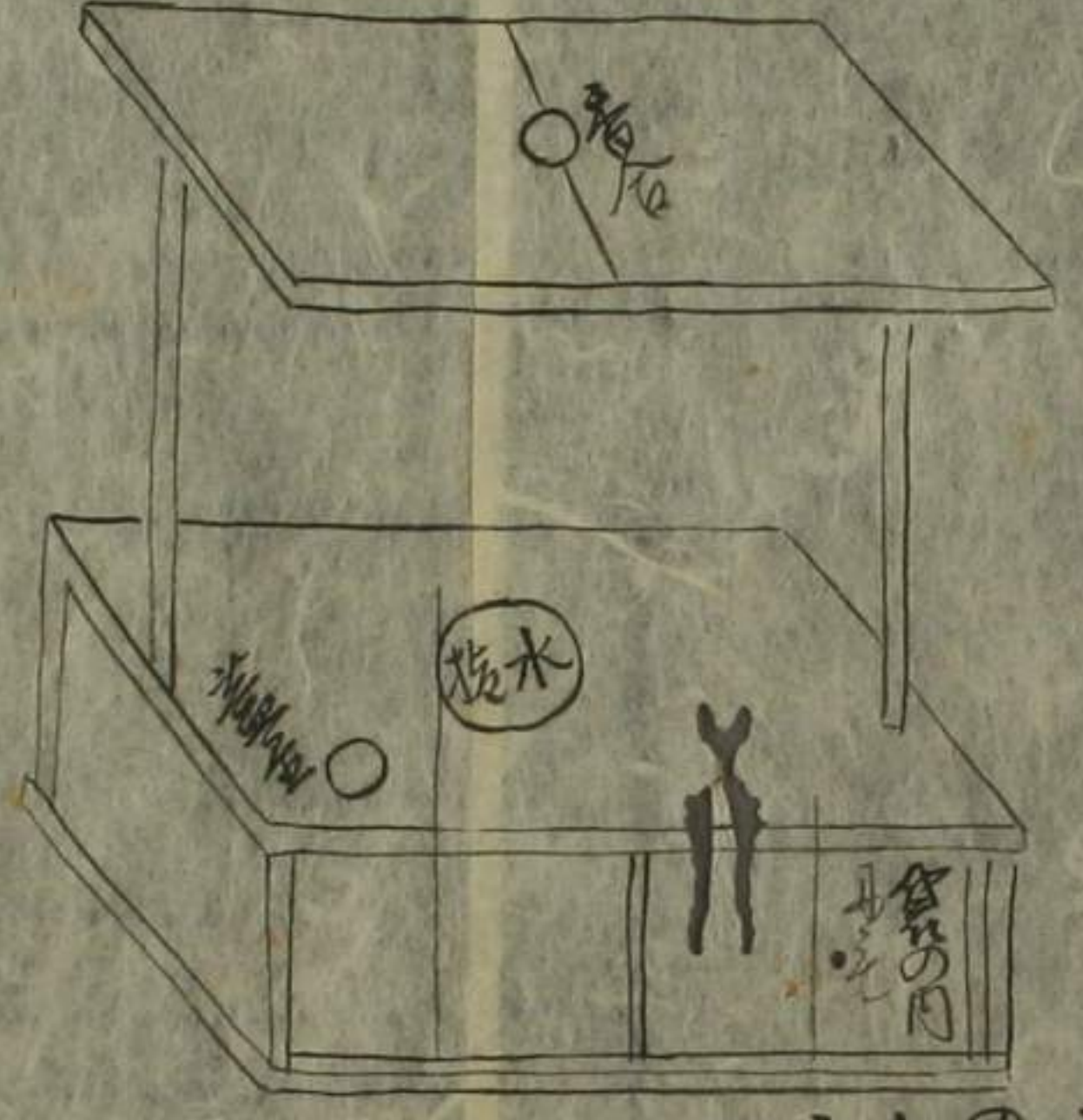
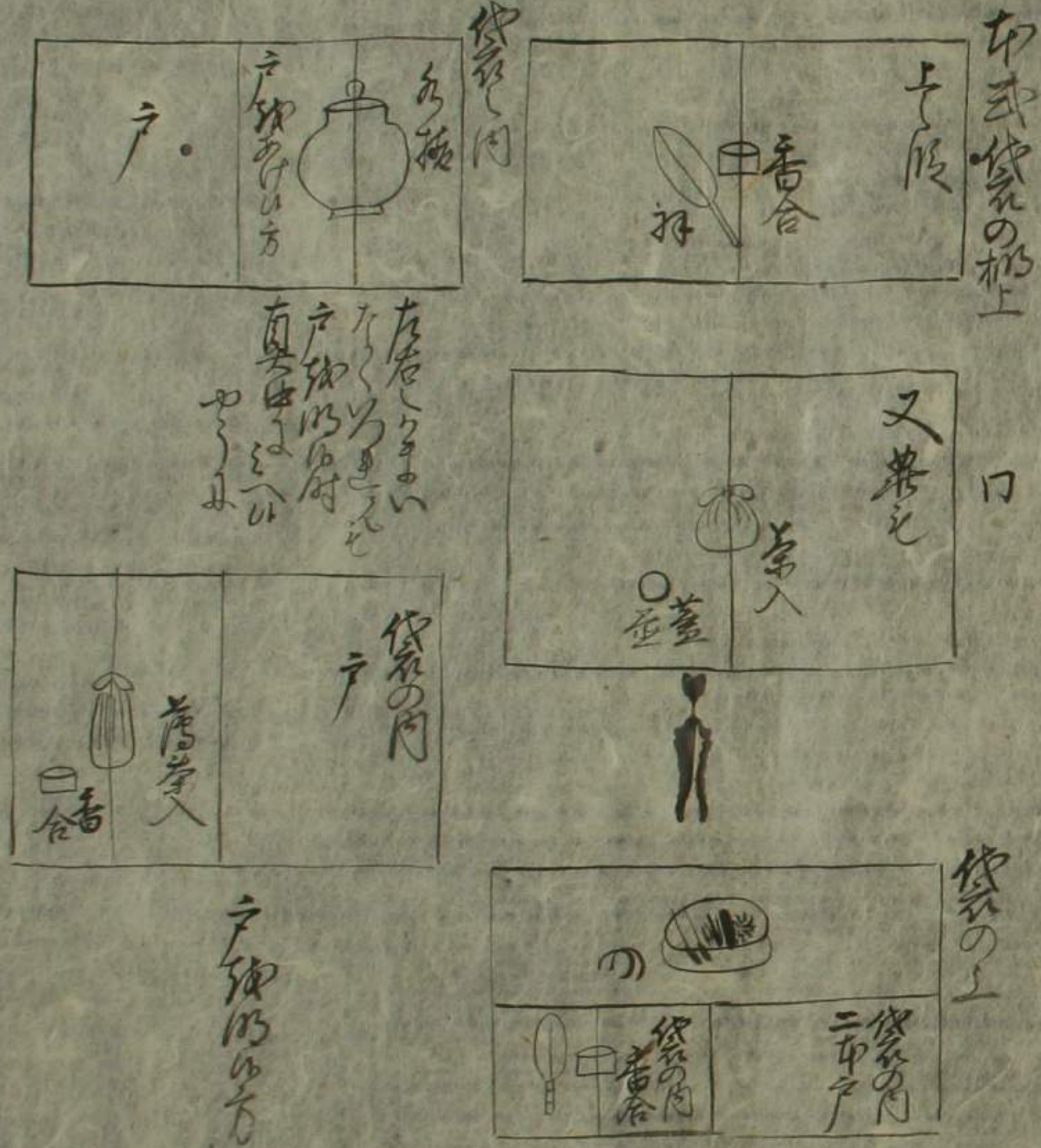
利休茶杓

天井

地を中或人杓古女六
 一三三三
 一三三三
 一三三三

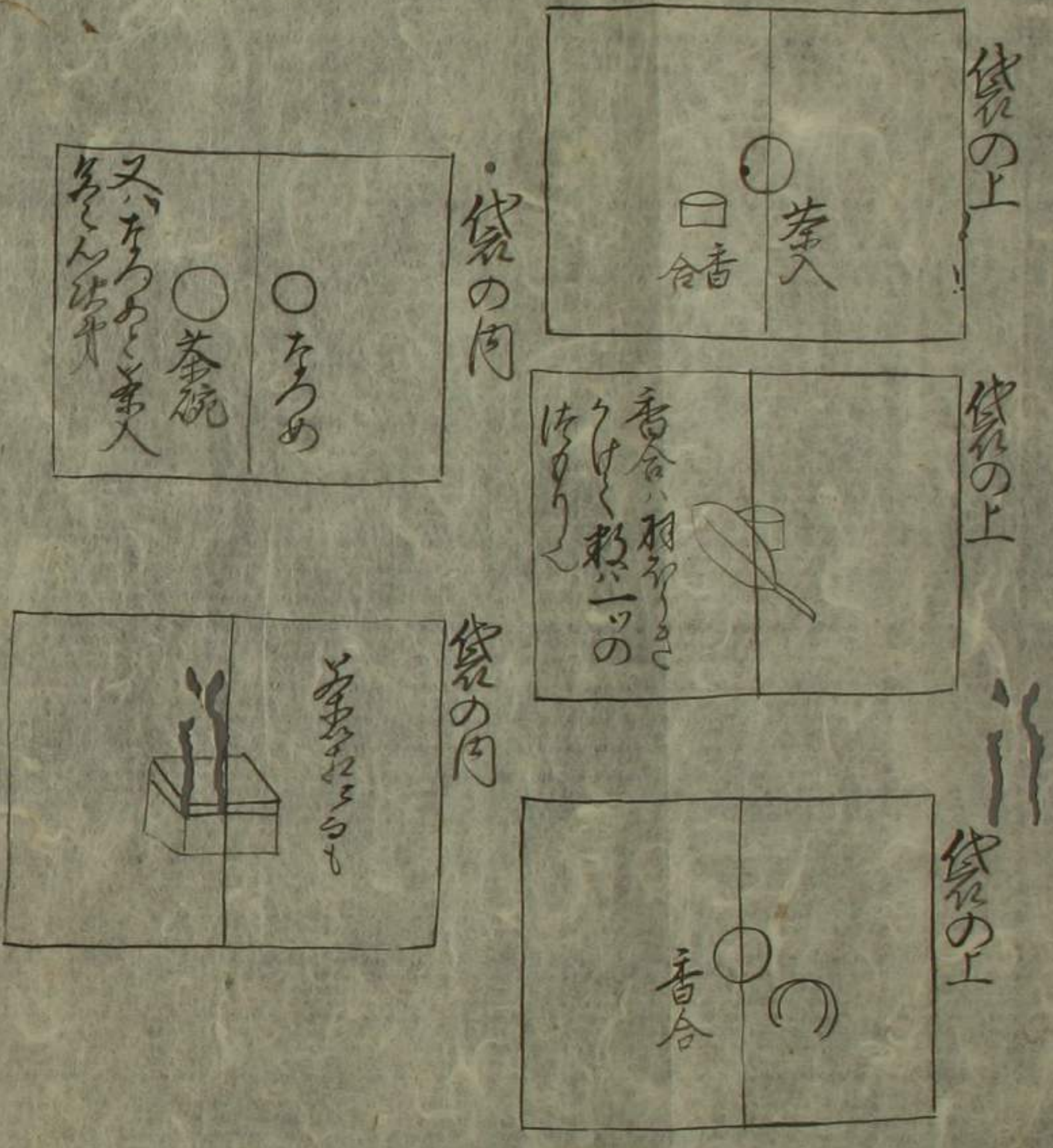


中杓下全板
 或寸五分



二巾戸の押込
の袋は袋の内よ
右指しは茶入
戸を以ての茶入
袋として

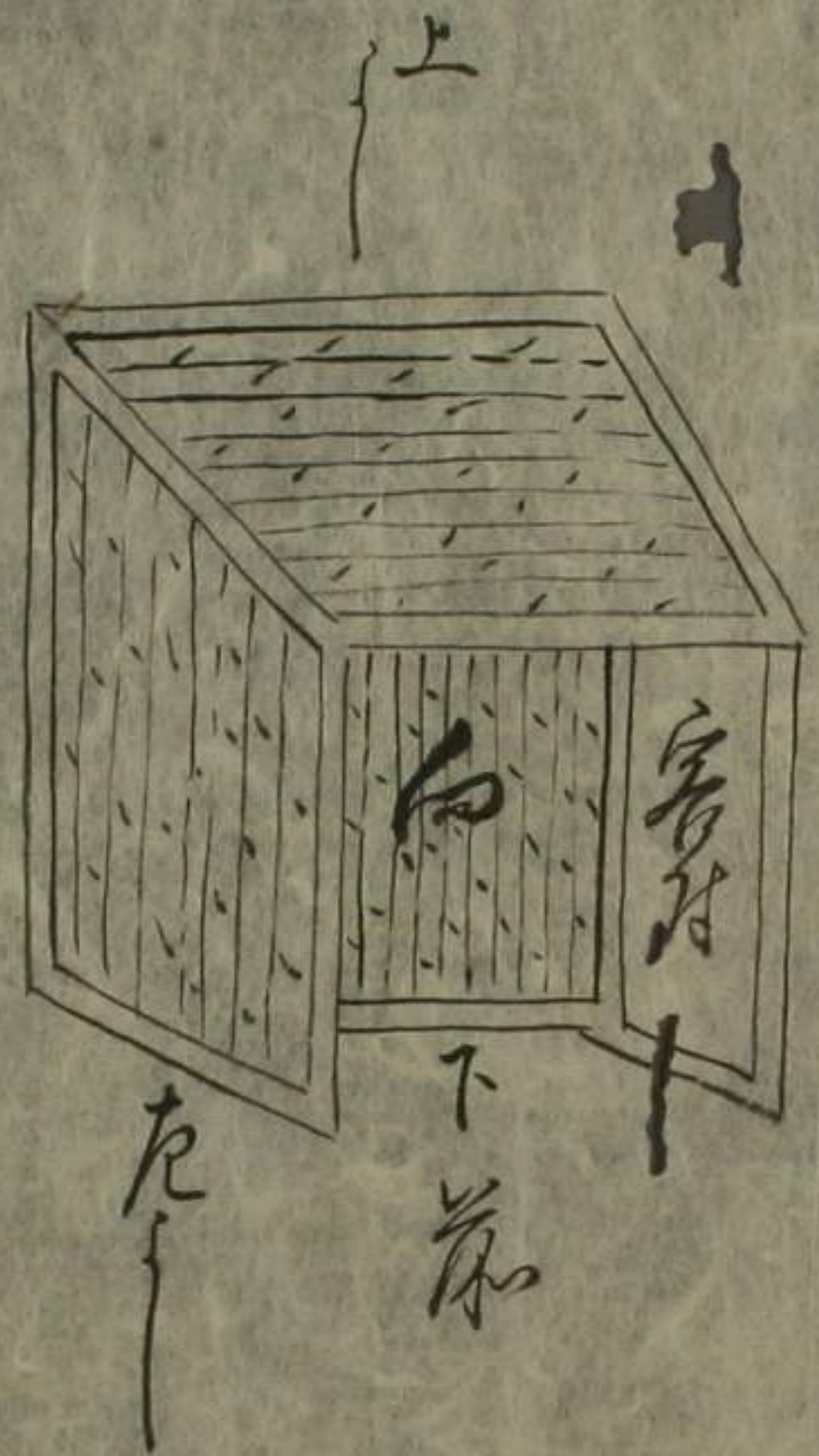
本式の袋櫃をり茶入のてく
茶入茶入
茶入茶入
茶入茶入

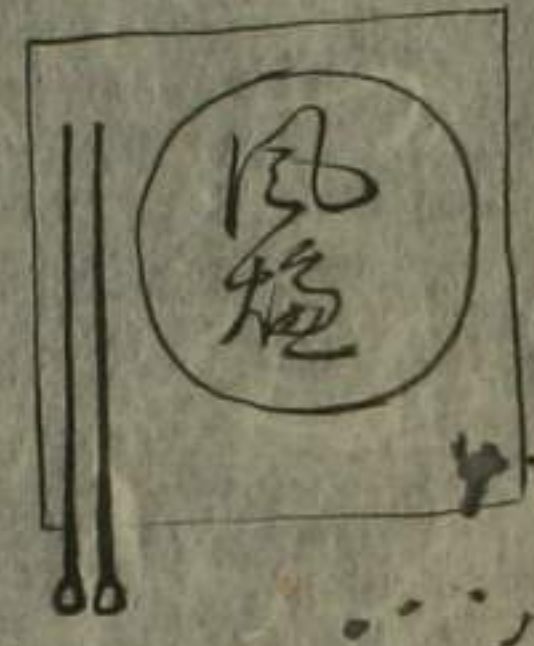


ひまわり

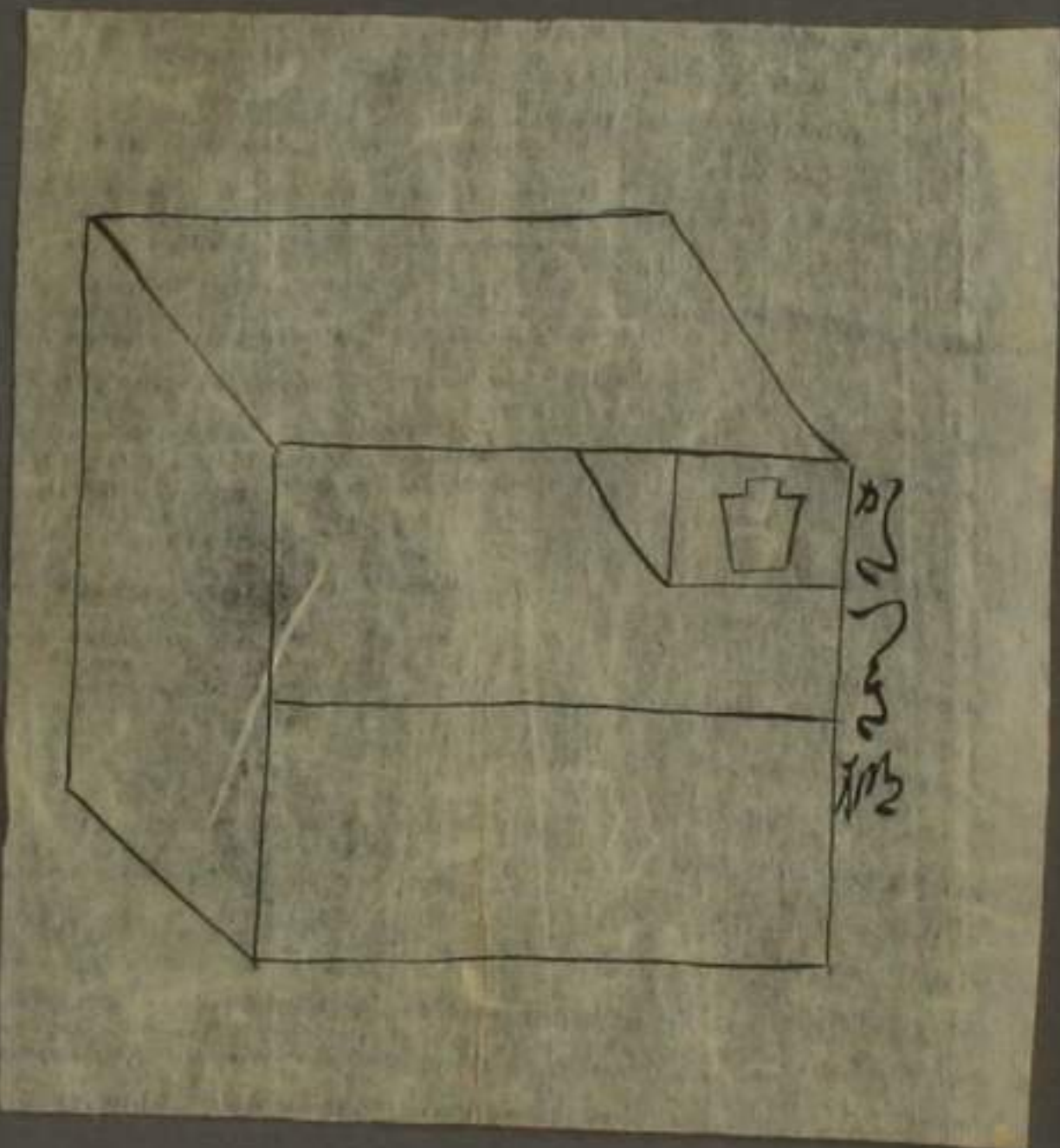
茶入

茶入

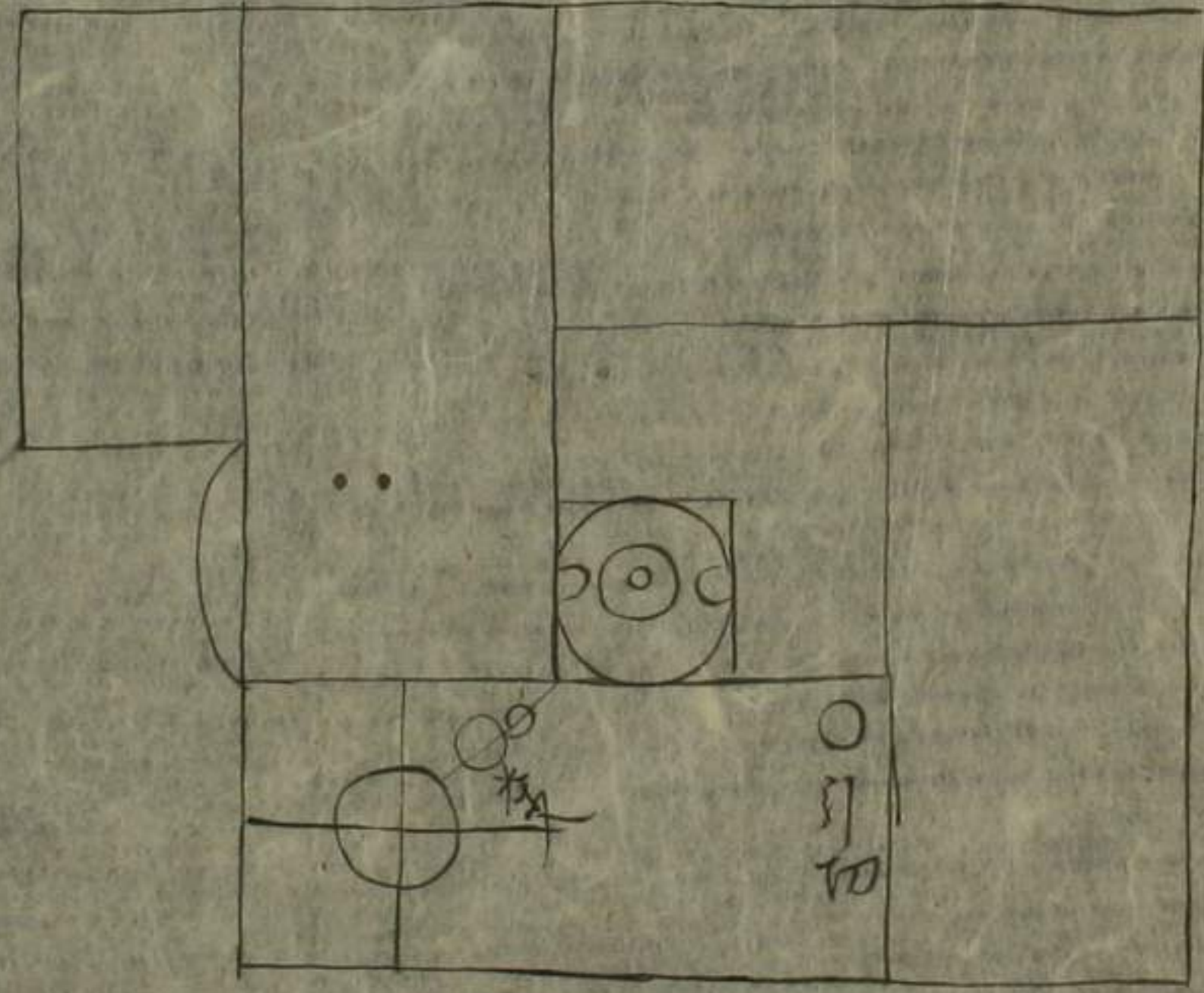


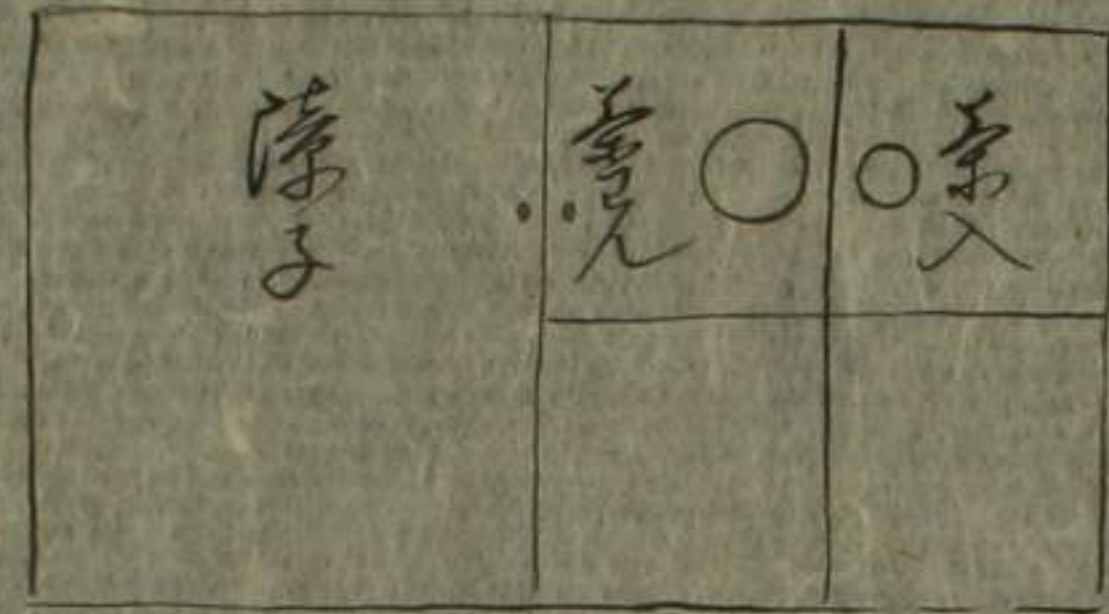


ゆき勝のたし
のたし
ゆき勝のたし
ゆき勝のたし
ゆき勝のたし

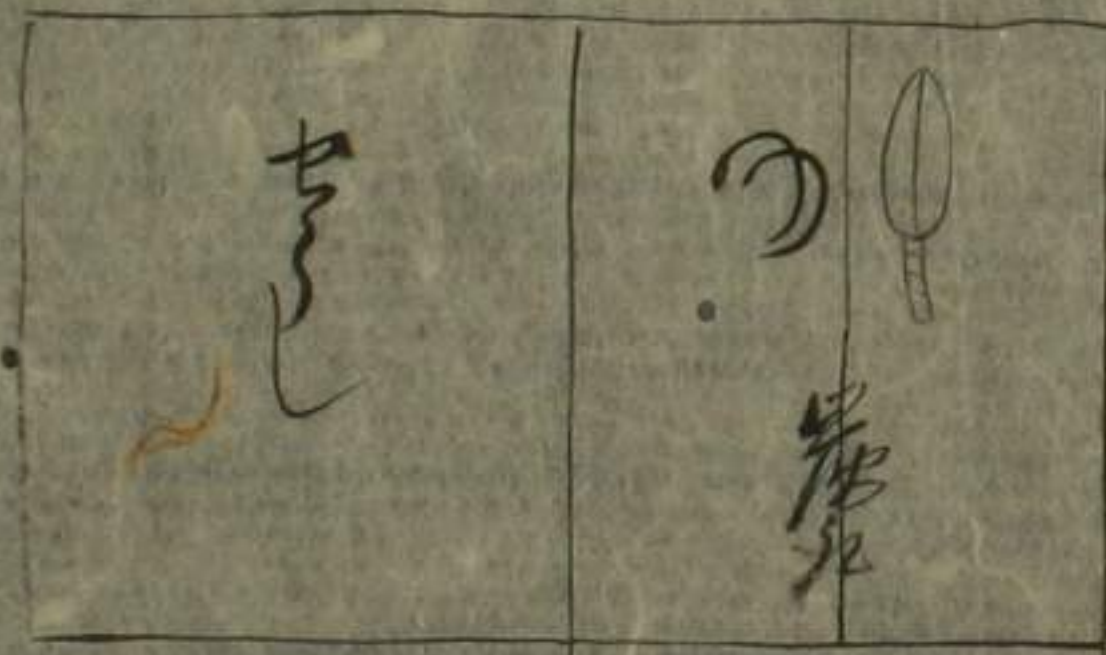
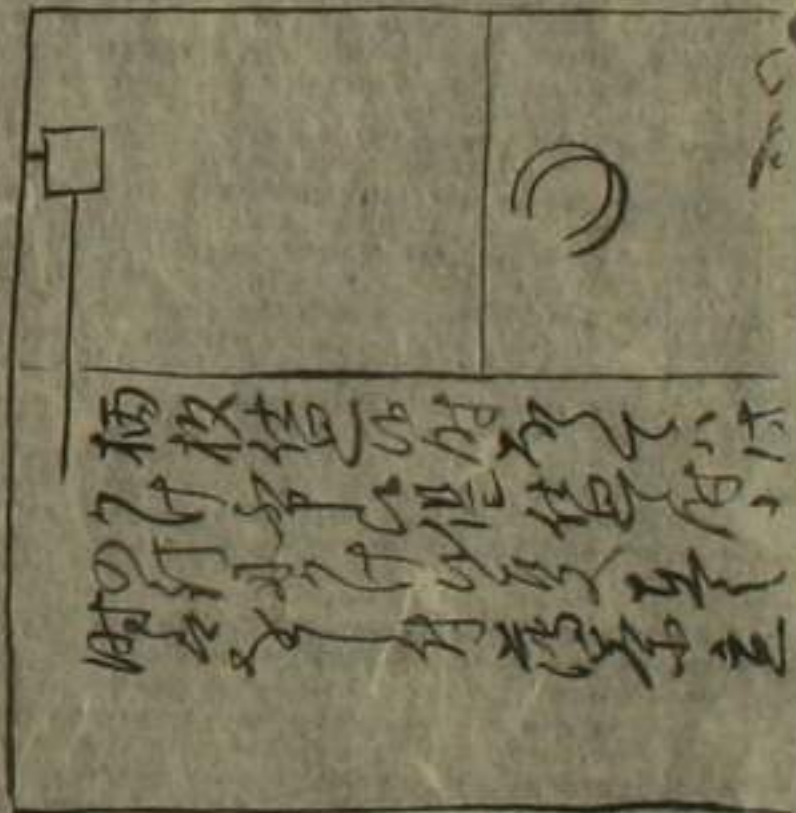
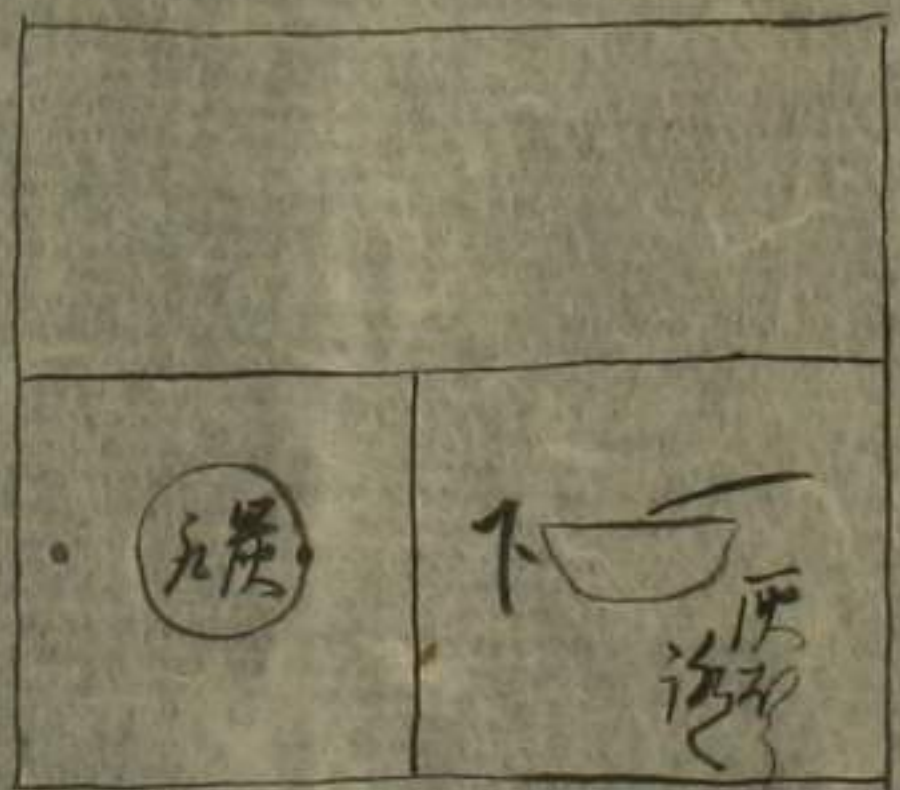
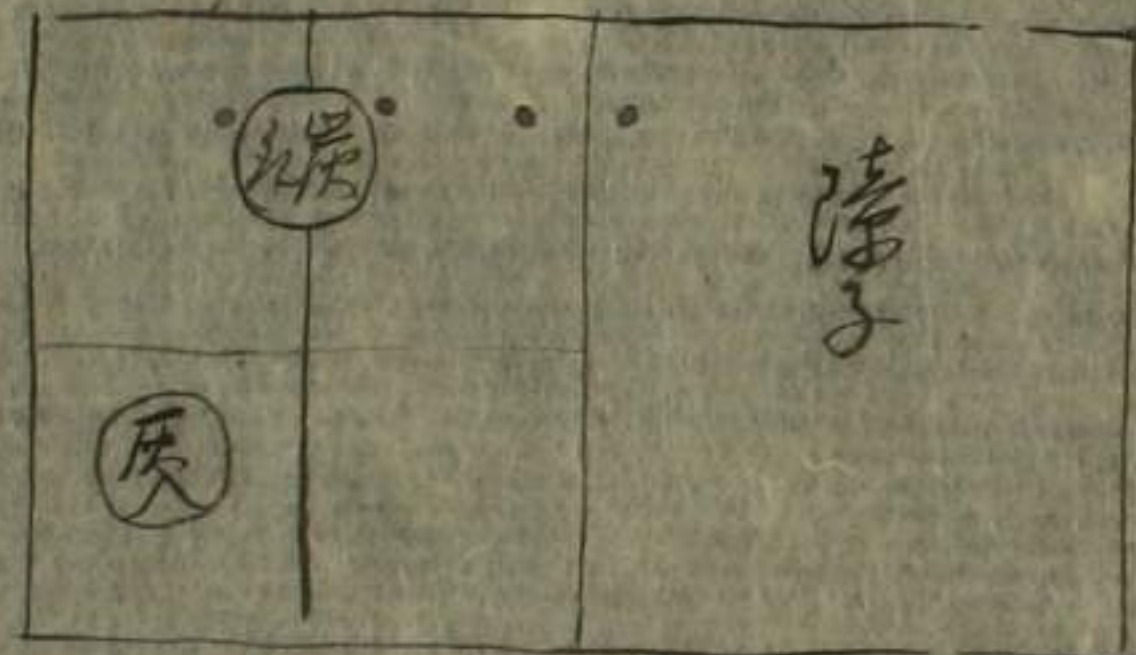
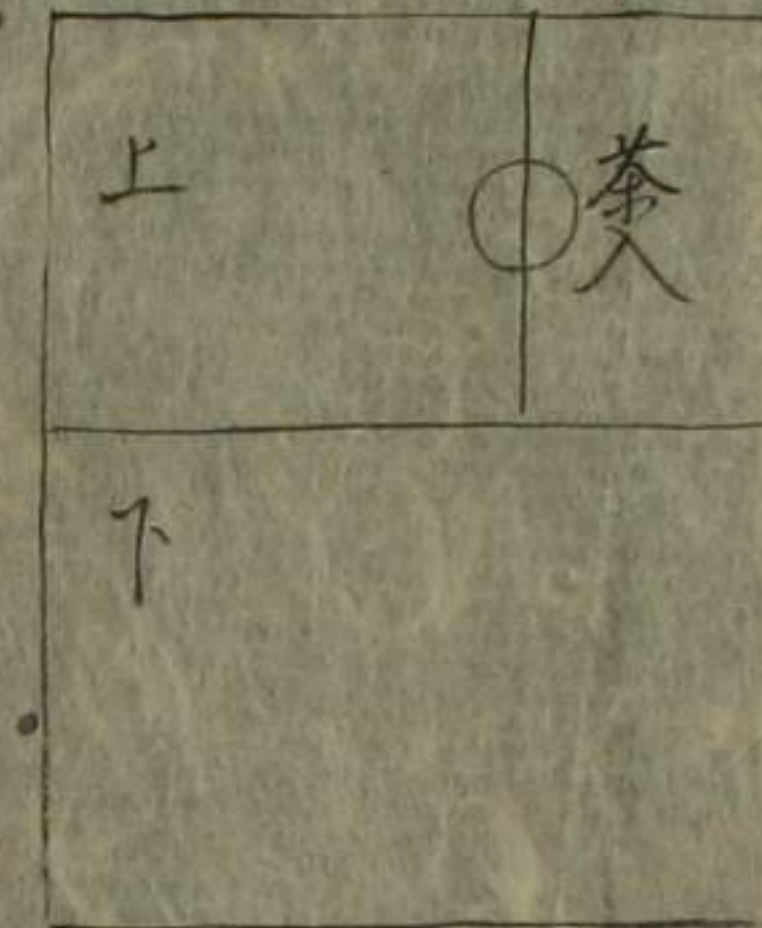
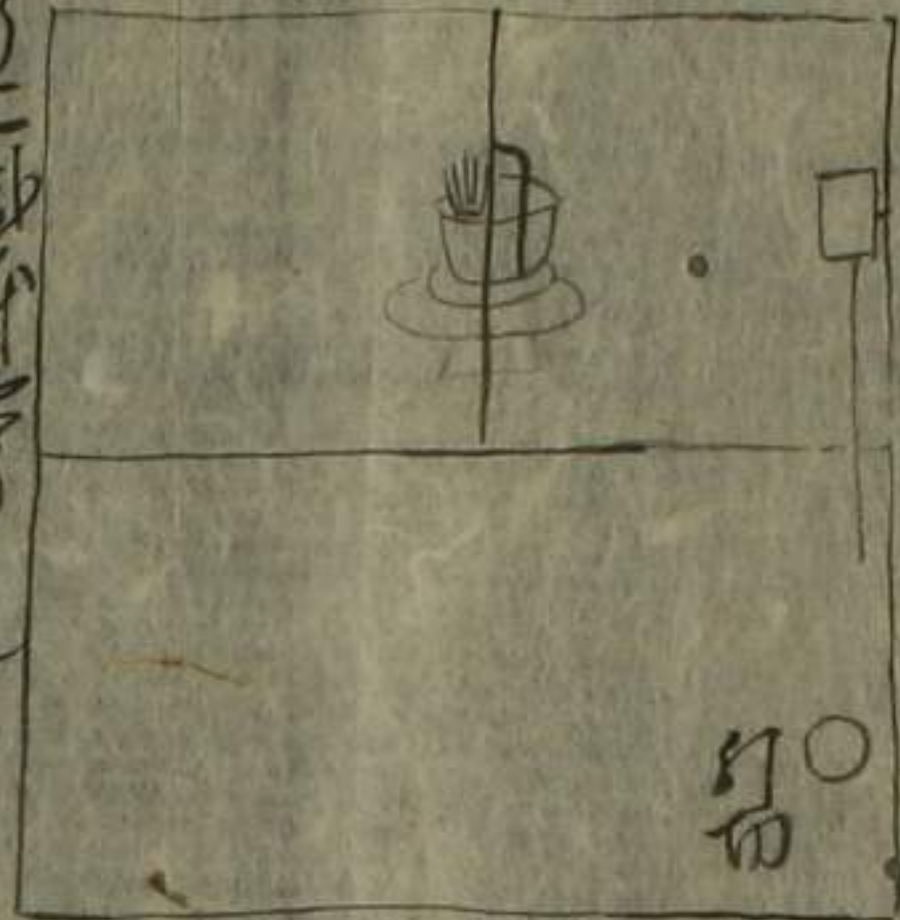


五言半花
引切卷圖

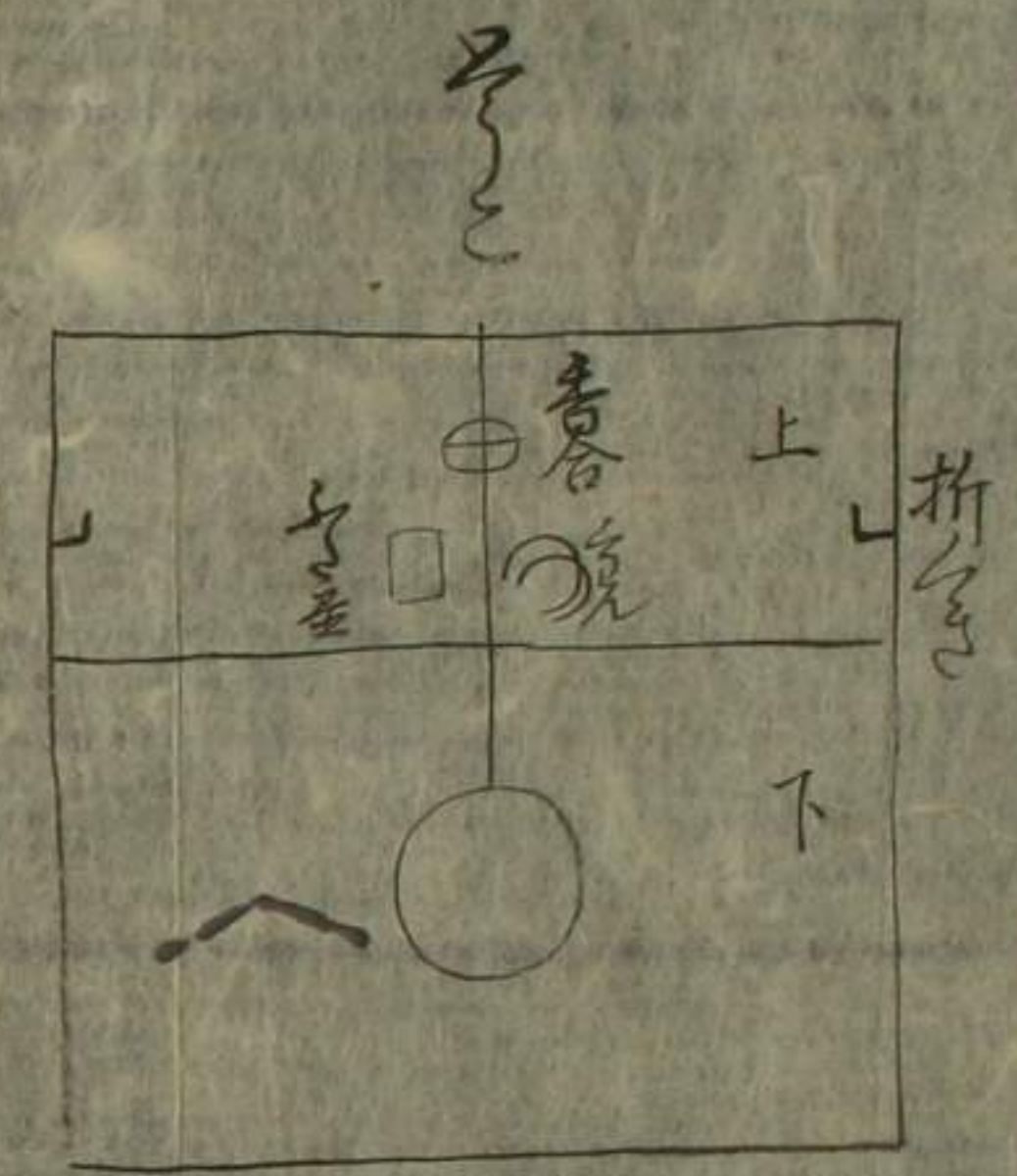
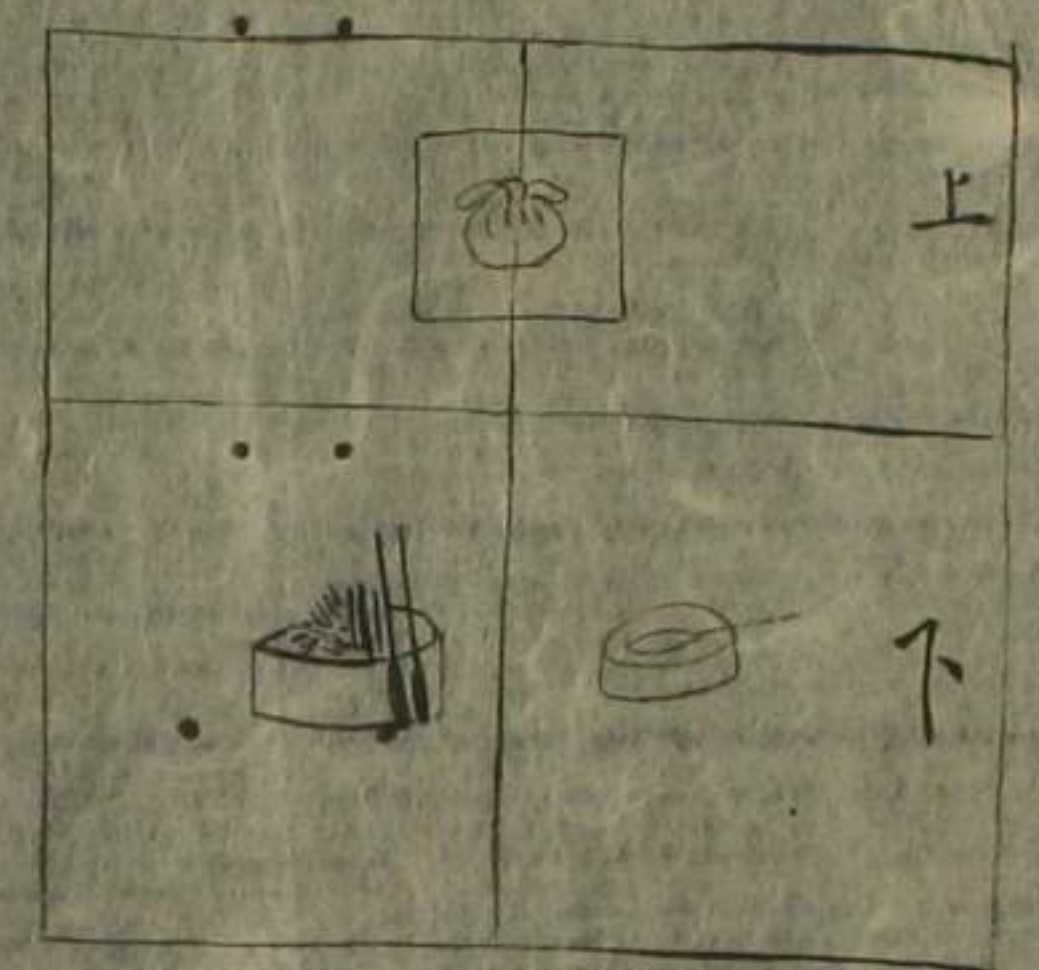
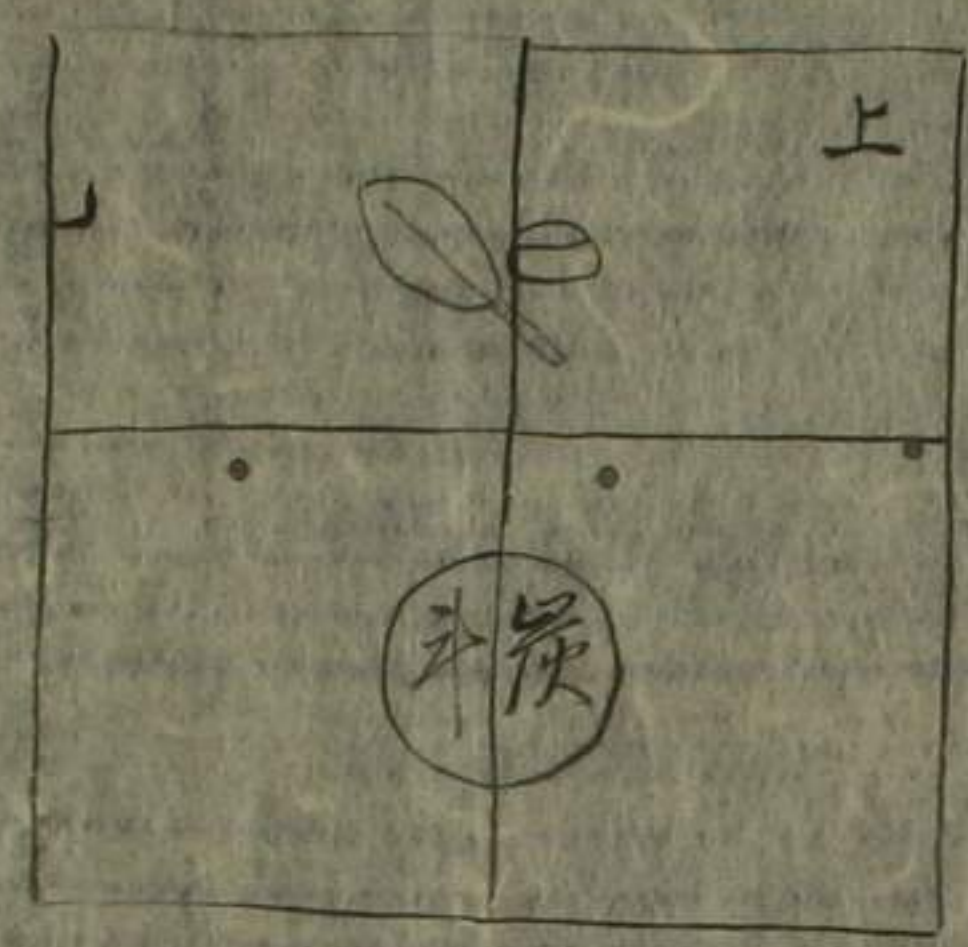
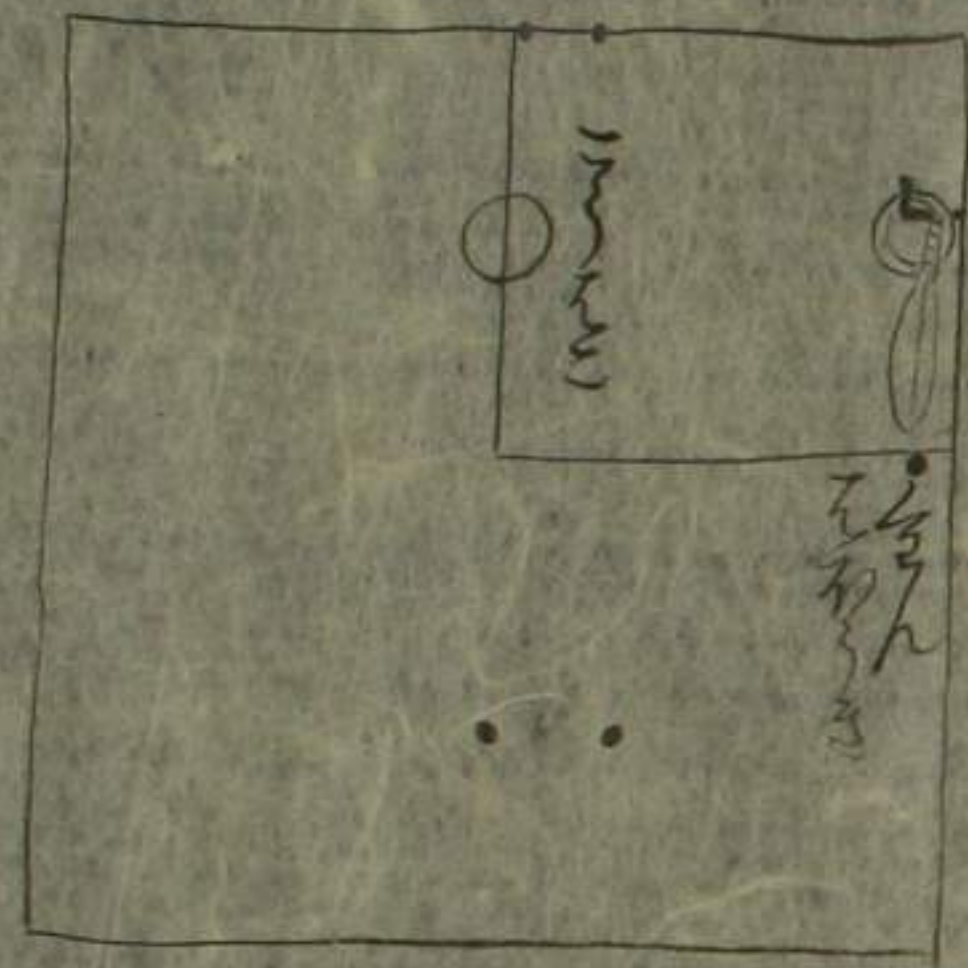




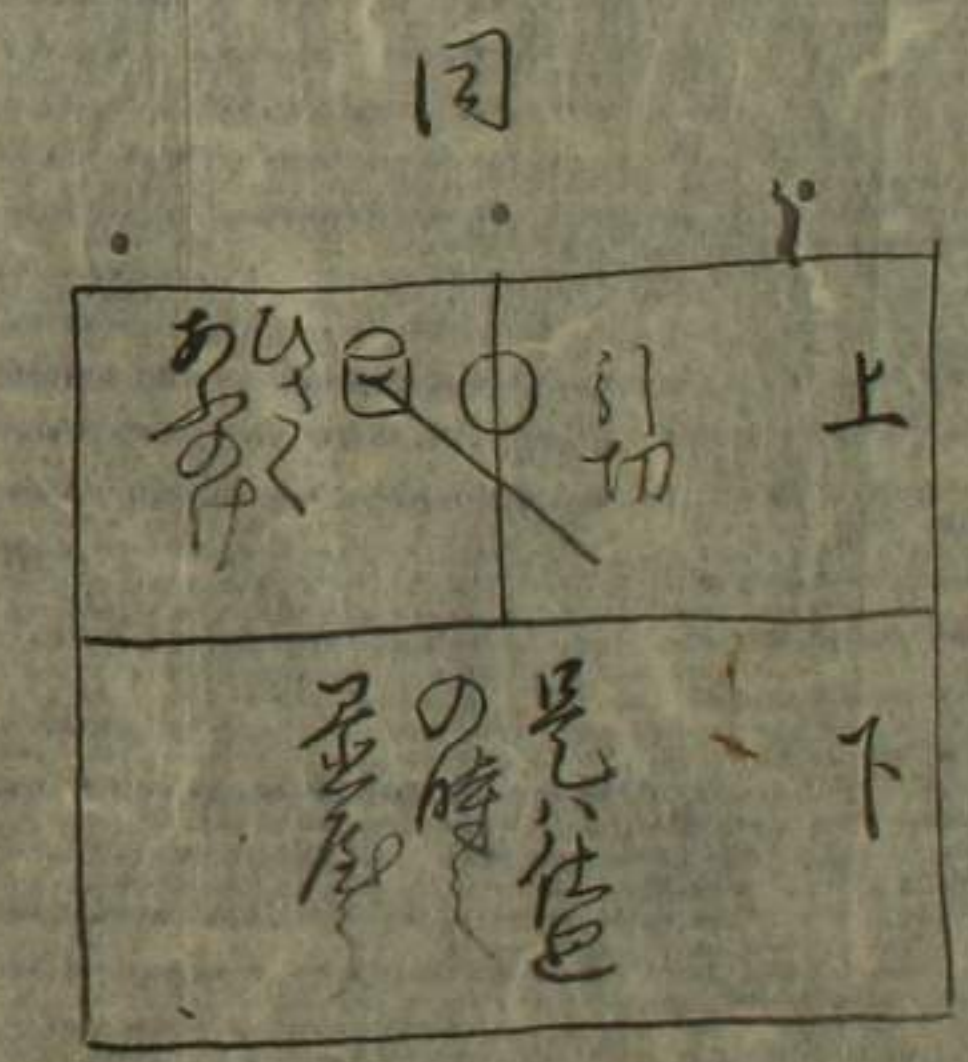
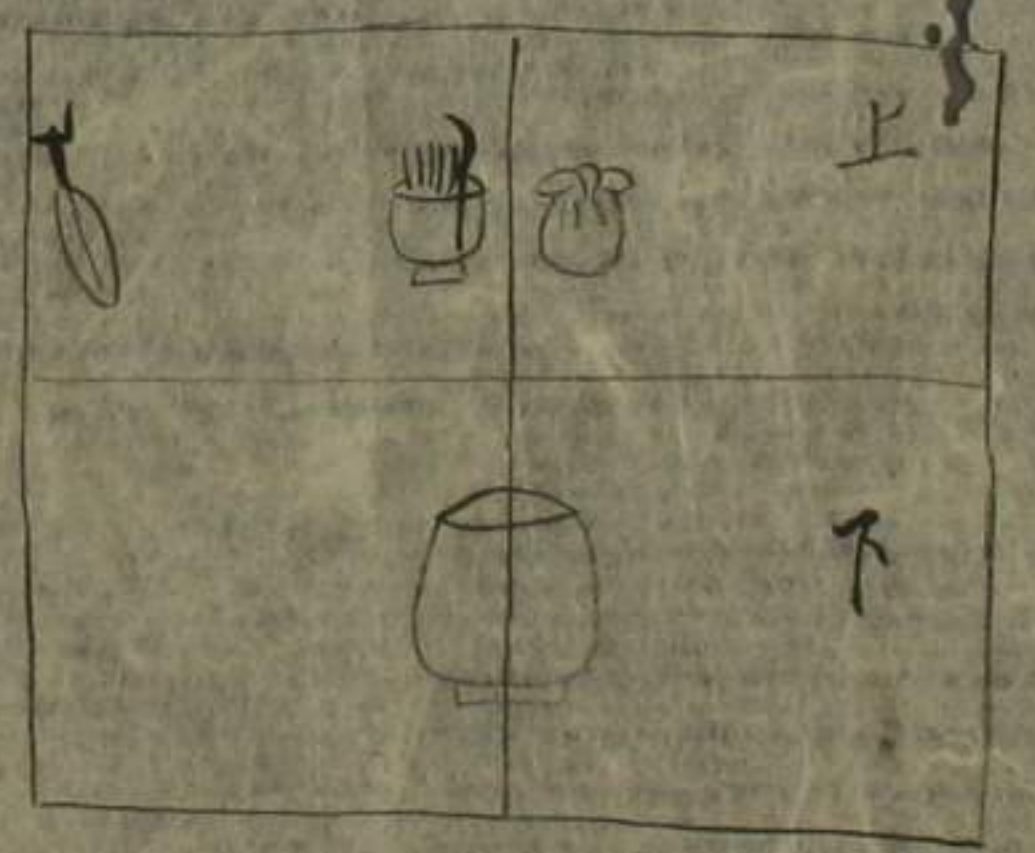
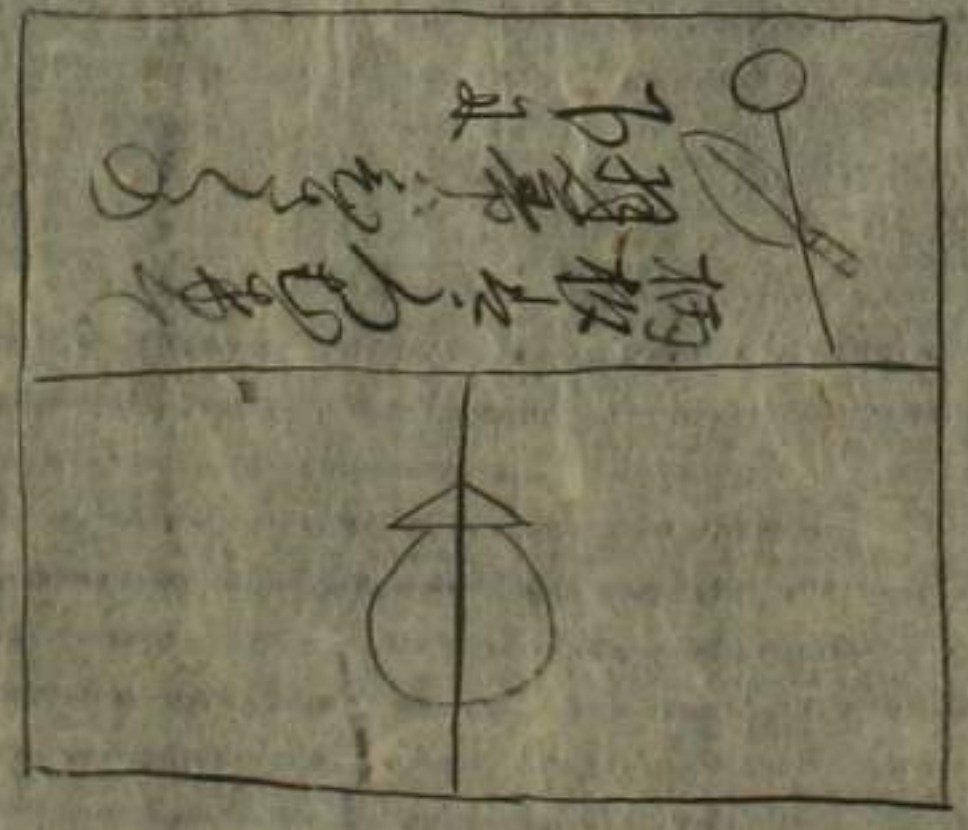
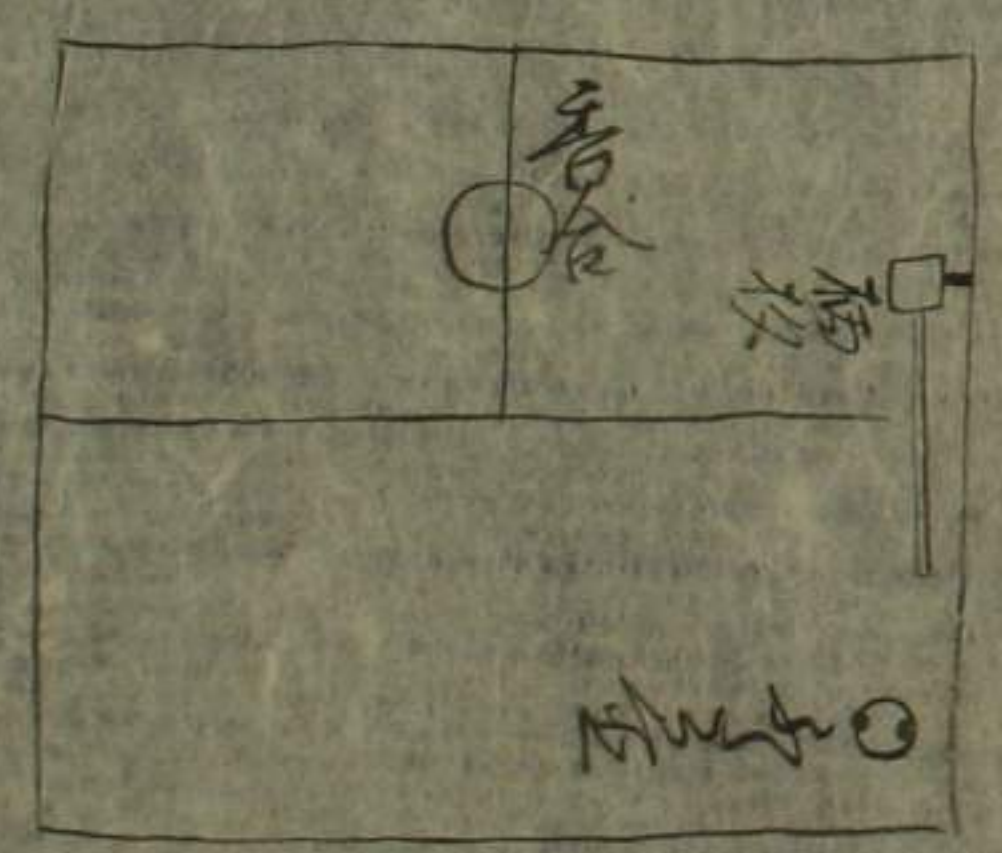
二部不




同



同

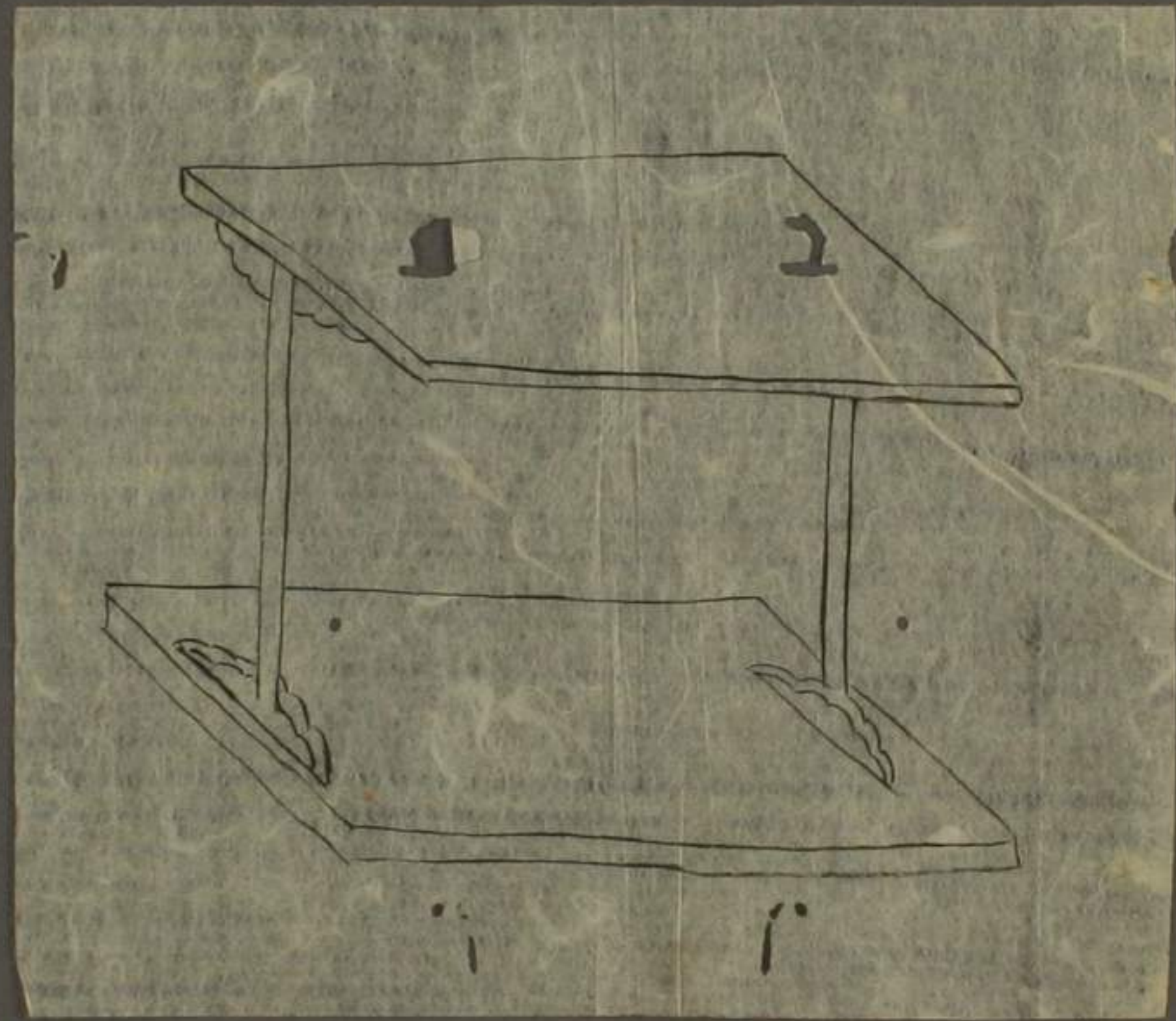


是ハ仕色
一色ハ仕色

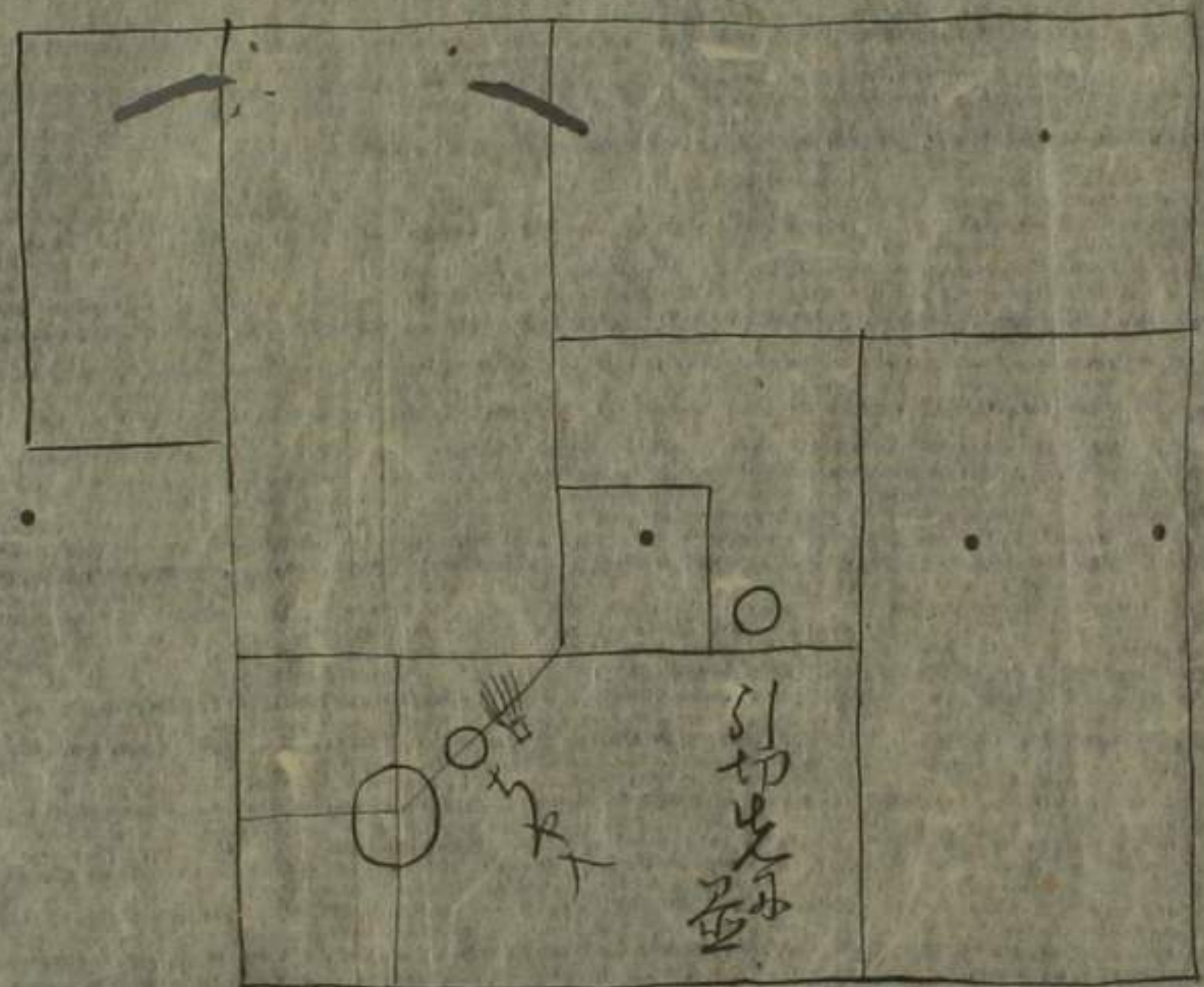
	茶 入

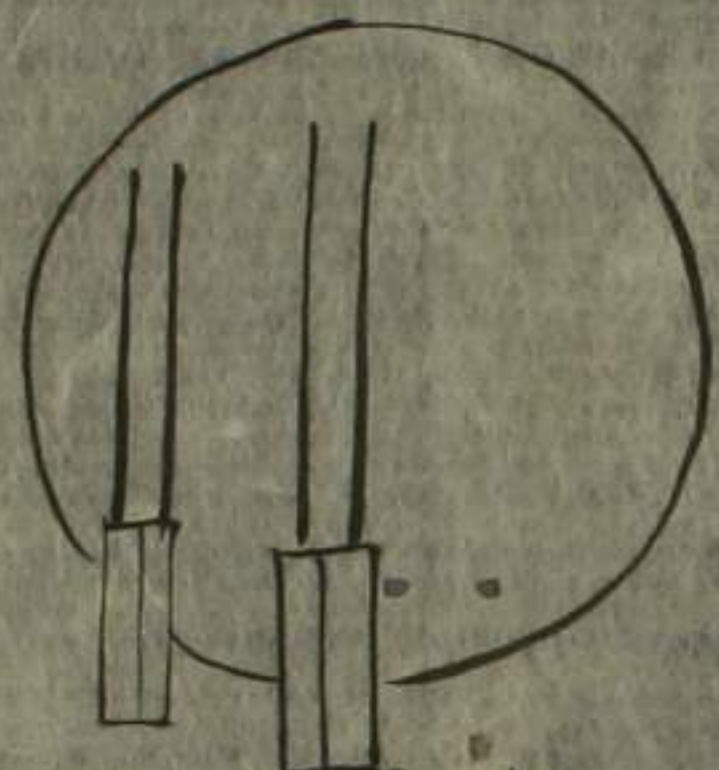
茶 入	茶 入

道々之茶圖



引切先子
益正身





中申あてをそとへあてて火無
 さしと炭取の図(おこしを
 以て挿す)

中申あてを
 挿す

炭取の図は火焚きの先を
 のせ居るの先は左側の好
 るれを右側の方のそとへ
 挿す

上

上

下

川

夫は申分利休經母と淨依の付家相此の事
經母と金下の事此相と金下
經母相成え初さるたんことわりと事
よふに金下と事し合し是と相多たえん
事しと事しゆゆきものなる茶湯と事し
此ら相と事しと事し

七九
えりし利休茶湯と床の申上流の解と二ツ是事
て金下の方の事此相と金下と事し
是又相多れなる事し合し是と事し
て茶湯と事しと事しと事しと事し
ハ茶通與此印事相と事しと事し

何れも相多相と合出の事しと事し
事しと事しと事し

目録利休一舎の茶湯の事しと事し
何れも相多相と事しと事し

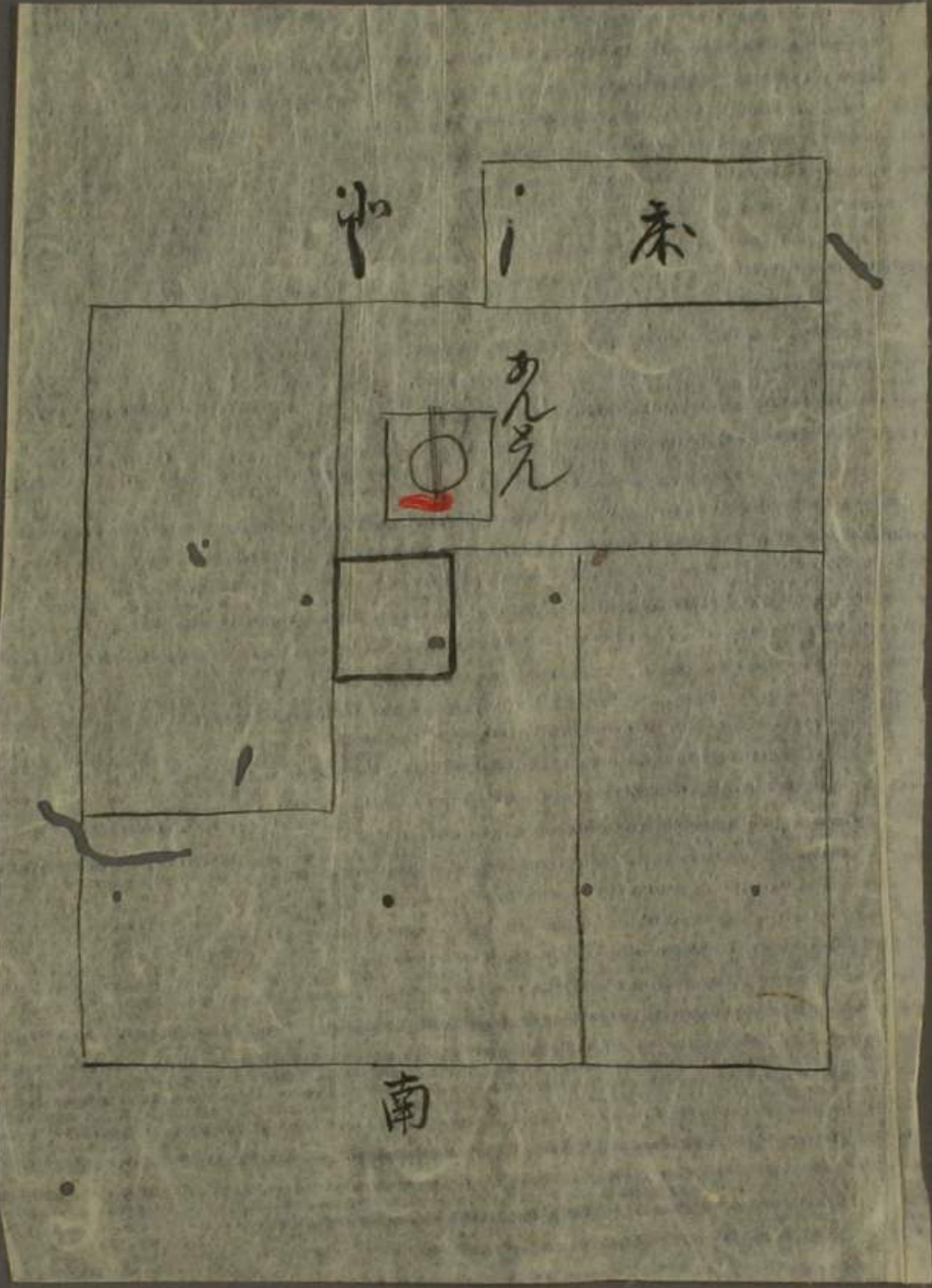
ハ在御子の一事と事しと事し
右胎子の一事と事しと事し
ともこね何事申結の事名ぬるはたの
事相多事しと事しと事し
下水と事しと事しと事し
事人事との事しと事しと事し
乃と事しと事しと事しと事し
事の時れ事しと事しと事し

無りし

全回礼を重と云津

右指の一事は先切し引き重と云の
るうをれわさいあさの言れ極ゆりの際節遠を
し葉入葉冬と云の言れがあら節遠ふを
葉入と云の言れ極ゆりの言れ大なるれを
葉入と云の言れ久る自由な小振の葉入
をれ極ゆりもあらいささかきと云
中よりいして先葉入れ極ゆり葉入の言れ
からの言れ極ゆり葉入を葉冬と云葉中ゆり
の言れ極ゆりもあらいささかきと云持右乃

もくし引切れた花が からの言れ極ゆりの
方より極ゆりもあらいささかきと云持右乃
初葉入を極ゆりもあらいささかきと云持右乃
久りいづくは葉入の時も先葉入葉冬と云の言れ
は極ゆりもあらいささかきと云持右乃
右の極ゆりもあらいささかきと云持右乃
らん水さの言れ極ゆりもあらいささかきと云持右乃
うれ又極ゆりもあらいささかきと云持右乃
も葉入切れ極ゆりもあらいささかきと云持右乃
用くし引切れた花が からの言れ極ゆりの
方より極ゆりもあらいささかきと云持右乃



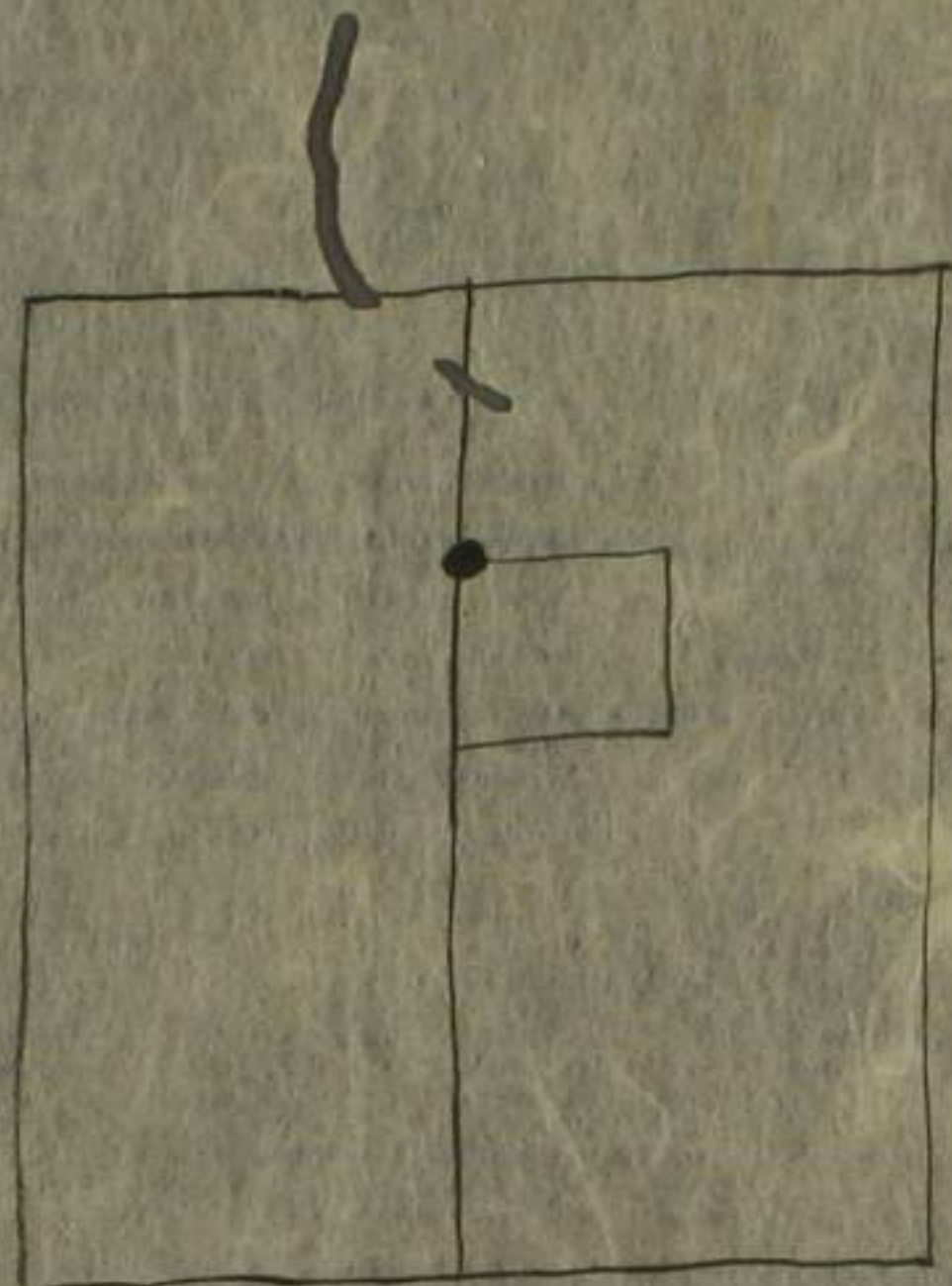
茶をいれ合ふもくくるかかひくも
大海の時茶客くちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
茶客くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも

卒

茶をいれ合ふもくくるかかひくも
大海の時茶客くちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
茶客くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも

茶をいれ合ふもくくるかかひくも
大海の時茶客くちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
茶客くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも
くちあれりくもくちあれりくも

四十三



此野を以て物ゆ
あり一人ありて居
る事しむ





